

OLYMPUS®

ボイストレック

V-823

V-822

V-821

取扱説明書

準備	1
録音について	2
再生について	3
FM ラジオについて	4
メニューについて	5
パソコンでの活用について	6
資料	7

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

JP

目次

各部のなまえ	4
レコーダー	4
ディスプレイ	5

1 準備

準備する	8
箱の中身を確認する	8
電池を入れる	9
電源を入れる	9
電池を設定する	10
日時を合わせる	10
充電する	11
パソコンの USB 端子に接続して充電する	11
USB 接続 AC アダプタ (別売 A514) に接続して充電する	12
電池について	13
microSD カードを入れる/取り出す	15
microSD カードを入れる	15
microSD カードを取り出す	16
誤操作を防止する	17
ホールドにする	17
ホールドを解除する	17
電源を切る	18
電源を切る	18
[ホーム] 画面の操作	19
モードを選択する	19
フォルダについて	21
音声録音用フォルダ	21
音楽再生用フォルダ	21
フォルダとファイルの選びかた	22

2 録音について

録音する	23
基本的な録音のしかた	23
録音を一時停止する/再開する	25
録音内容をすばやく確認するには	25
録音中の音声を聞くには	26
外部マイクを使って録音する	27
外部マイクで録音する	27
他の機器と接続して録音する	28
他の機器の音声を本機で録音する	28
本機の音声を他の機器で録音する	28
シーンに合わせて録音する [録音シーン]	29
録音シーンの選びかた	29

3 再生について

再生する	31
基本的な再生のしかた	31
イヤホンで聞くには	32
早送りをするには	33
早戻しをするには	33
ファイルの頭出しをするには	34
再生音声を変更する (ボイスチェンジャー)	35
ABC リピート再生をする	36
インデックスマーク・テンプマークについて	39
インデックスマーク・ テンプマークを付ける	39
インデックスマーク・ テンプマークを消去する	39
カレンダー検索機能を使う	40
カレンダー検索機能を使ってファイルを 探す	40
再生シーンを選ぶ [再生シーン]	41
再生シーンを選ぶ	41
消去する	42
ファイルを消去する	42
フォルダを消去する	43

4 FM ラジオについて (V-823、V-822 のみ)

FM ラジオをご使用になる前に	44
自動で放送局を登録する	45
地域で放送局を登録する [地域で登録]	45
受信可能な放送局を追加する [スキャン登録]	47
FM ラジオを聞く	49
FM ラジオを聞く	49
受信モードを切り替える	50
放送局を追加登録する	51
手動で受信した放送局を追加登録する [現在の局を登録]	51
登録した放送局名を変更する [放送局名選択]	53
放送局の登録名称を変更する	53
登録した放送局を削除する	54
不要な放送局を登録から削除する	54
FM ラジオを録音する	55
FM ラジオを録音する	55

目次

5 メニューについて

メニュー設定のしかた	57
基本的な操作のしかた	57
メニューの一覧	59
ファイルメニュー [ファイル設定]	65
ファイルの音声部分を抽出する	
[声だけ抽出]	65
ファイルの誤消去を防止する	
[ファイルロック]	67
ファイルを並べ替える [並び替え]	68
ファイルを移動/コピーする	
[ファイル移動/コピー]	69
ファイルを分割する [ファイル分割]	72
ファイルやフォルダの情報を見る	
[プロパティ]	74
録音メニュー [録音設定]	76
録音感度を選択する [録音レベル]	76
録音モードを設定する [録音モード]	78
マイクの指向性を選択する	
[ズームマイク]	79
ノイズを軽減して録音する	
[ローカットフィルタ]	81
音声起動録音機能を使う [VCVA]	82
音声同期録音機能を使う [音声同期録音]	84
再生メニュー [再生設定]	86
非音声部分をスキップして再生する	
[声だけ再生]	86
音ありと音なしを交互に繰り返して再生する	
[シャドーイング]	87
ノイズを軽減して再生する	
[ノイズキャンセラー]	89
小さい音を補正して再生する	
[ボイスバランス]	90
音声をクリアに強調する [音声フィルタ]	92
再生モードを選択する [再生モード]	93
音楽の音質を変える [イコライザー]	96
スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]	98
再生シーンを設定する [再生シーン]	100
表示/音メニュー [表示/音設定]	102
バックライトを設定する [バックライト]	102
コントラストを調整する [コントラスト]	103
LED 表示ランプを設定する [LED]	104
ビープ音を設定する [ビープ音]	105
表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]	106
スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]	107

本体メニュー [本体設定]	108
記録メディアを選択する [メモリ選択]	108
省電力モードを設定する [スリープ]	109
使用する電池を設定する [電池設定]	110
日付・時刻を合わせる [時計設定]	111
USB 接続を設定する [USB 設定]	113
設定をリセットする [設定リセット]	115
記録メディアを初期化する [初期化]	116
記録メディアの情報を確認する	
[メモリ情報]	118
本機の情報を確認する [システム情報]	119
FM メニュー [FM 設定]	120
録音時の音質を選択する [録音モード]	120
スキャン感度を設定する [スキャン感度]	121
音声出力を切り替える [出力設定]	122

6 パソコンでの活用について

パソコンの動作環境	123
パソコンに接続する/取り外す	125
パソコンに接続する	125
パソコンから取り外す	126
ファイルをパソコンに取り込む	127
パソコンの外部メモリとして使う	128

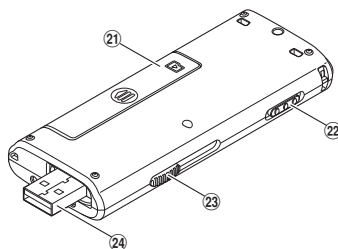
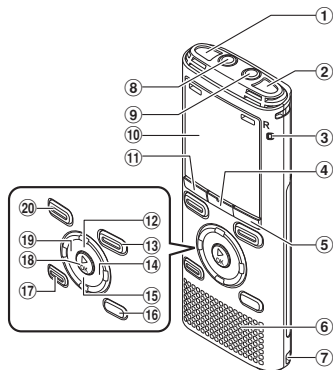
7 資料

警告表示一覧	129
故障かな?と思ったら	131
お手入れ	134
アクセサリ (別売)	135
商標について	136
安全に正しくお使いいただくために	137
主な仕様	141
地域リスト	146
索引	147

各部のなまえ

レコーダー

各部のなまえ



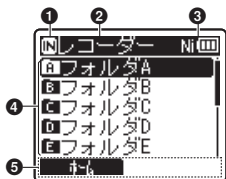
- ① 内蔵ステレオマイク (L)
- ② 内蔵ステレオマイク (R)
- ③ LED 表示ランプ (LED)
- ④ メニュー / シーンボタン
- ⑤ F2 ボタン
- ⑥ 内蔵スピーカ
- ⑦ ストラップ取り付け部
- ⑧ イヤホンジャック
- ⑨ マイクジャック
- ⑩ ディスプレイ
- ⑪ F1 ボタン
- ⑫ + ボタン
- ⑬ 録音 (●) ボタン

- ⑭ ▶▶ ボタン
- ⑮ - ボタン
- ⑯ リストボタン
- ⑰ 消去ボタン
- ⑱ ▶OK ボタン
- ⑲ ◀◀ ボタン
- ⑳ 停止 (■) ボタン
- ㉑ 電池 / カードカバー
- ㉒ 電源 / ホールドスイッチ
- ㉓ USB 端子スライドレバー
- ㉔ USB 端子 / USB 端子カバー (格納式)

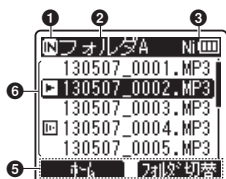
ディスプレイ

■ [レコーダー] モード:

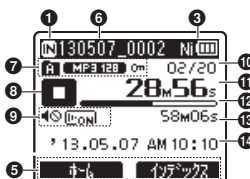
フォルダリスト表示



ファイルリスト表示



ファイル表示



- ① 記録メディア表示
 [N] : 内蔵メモリ
 [D] : microSD カード
- ② 現在のフォルダ名
- ③ 電池表示
- ④ フォルダ名
- ⑤ ファンクションボタンガイド表示
- ⑥ ファイル名
 [▶] : 再生表示
 [□] : 声だけ抽出*
- ⑦ フォルダ表示、録音フォーマット表示、ファイルロック表示
- ⑧ 本機の動作状態
 [▶] : 録音表示
 [▶] : 録音一時停止表示
 [■] : 停止表示
 [▶] : 再生表示
 [▶] : 早送り表示
 [◀] : 早戻し表示
 [▶] : 早聞き再生表示
 [▶] : 遅聞き再生表示
 [▶] : 音程変更再生表示 * (高)
 [▶] : 音程変更再生表示 * (低)

- ⑨ スピーカ出力停止 (⏏)、声だけ再生* ([L:ON])
- ⑩ フォルダ内のファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数
- ⑪ 録音経過時間、再生経過時間
- ⑫ メモリ残量バー表示、再生位置バー表示
- ⑬ 録音可能な残り時間、ファイルの長さ
- ⑭ レベルメーター、録音日時

* V-823、V-822 のみ

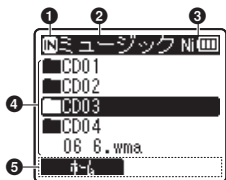
各部のなまえ

ディスプレイ

■ [ミュージック] モード:

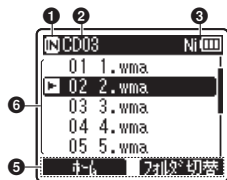
各部のなまえ

リスト表示 ①



フォルダ内にファイルと
フォルダがある場合

リスト表示 ②



フォルダ内にファイルの
みがある場合

ファイル表示



① 記録メディア表示

[IN] : 内蔵メモリ

[D] : microSD カード

② 現在のフォルダ名

③ 電池表示

④ フォルダ名、ファイル名

⑤ ファンクションボタンガイド表示

⑥ ファイル名

[▶] : 再生表示

⑦ フォルダ表示、 スピーカ出力停止 (⊘)、 ファイルロック (Om)

⑧ 本機の動作状態

[▶] : 再生表示

[■] : 停止表示

[▶▶] : 早送り表示

[◀◀] : 早戻し表示

[▶F] : 早聞き再生表示

[▶S] : 遅聞き再生表示

[▶A] : 音程変更再生表示 * (高)

[▶B] : 音程変更再生表示 * (低)

⑨ タイトル名

⑩ アーティスト名

⑪ フォルダ内のファイル番号/ フォルダ内の総ファイル数

⑫ 再生経過時間

⑬ 再生位置バー表示

⑭ ファイルの長さ

* V-823、V-822 のみ

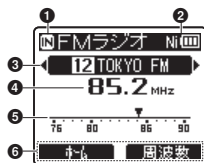
各部のなまえ

ディスプレイ

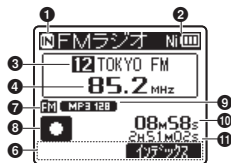
■ [FM ラジオ] モード:

! V-823、V-822 のみ

ラジオ受信表示



ラジオ録音中表示



- 1 記録メディア表示
- 2 電池表示
- 3 プリセット番号、受信中の放送局名
- 4 受信中の周波数
- 5 周波数バー表示
- 6 ファンクションボタンガイド表示
- 7 フォルダ表示
- 8 本機の動作状態

: 録音表示

: 録音一時停止表示

- 9 録音フォーマット表示
- 10 録音経過時間
- 11 録音可能時間

ヒント

- 停止中に**停止** (■) ボタンを押し続けると**[現在日時]**や**[メモリ残量]**(録音可能な残り時間)を確認できます。現在日時が合っていない場合、「日付・時刻を合わせる**[時計設定]**」(P.111)をご覧ください。



アイコン表示部

アイコン表示部 (全モード共通)

- : 録音レベル
- : VCVA
- : 音声同期録音
- : イコライザー
- : ローカットフィルタ
- : ズームマイク *1
- : ノイズキャンセル
- : ボイスバランス*2
音声フィルタ*3
- : 再生モード

*1 V-823 のみ。

*2 V-823、V-822 のみ。

*3 V-821 のみ。

準備

準備する

1

箱を開けたら以下の順番で準備を行ってください

準備する

準備 1

箱の中身を確認する

すべて揃っていますか？



準備 2

電池を入れる



準備 3

電源を入れる



準備 4

電池を設定する

ニッケル水素充電電池？ それともアルカリ乾電池？



準備 5

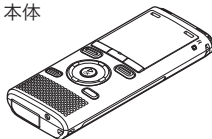
日時を合わせる

ファイル管理のために時計を合わせましょう

箱の中身を確認する

同梱品はお買い上げのモデルにより異なります。

本体



キャリング
ケース *1



- USB 接続ケーブル *3
- イヤホン
- 取扱説明書（保証書付）



- 単 4 形ニッケル水素充電電池 *1
- 単 4 形アルカリ乾電池 *2

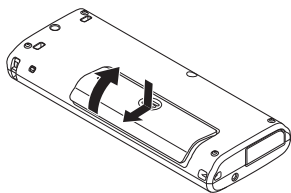
- *1 V-823、V-822 のみ。
- *2 V-821 のみ。
- *3 V-823 のみ。

準備する

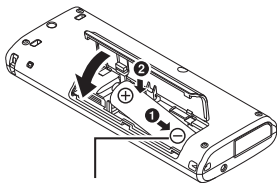
電池を入れる

本機をご使用になる前に電池を本機にセットしてください。

- 1 電池 / カードカバーを上から軽く押しながらスライドさせて開ける



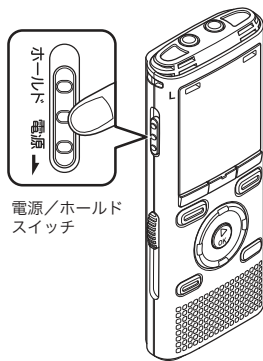
- 2 単4形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れ、電池 / カードカバーを完全に閉める



マイナス側を先に
入れます

電源を入れる

- 1 本機の電源が切れている状態で電源 / ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる



電源 / ホールド
スイッチ

1

準備する

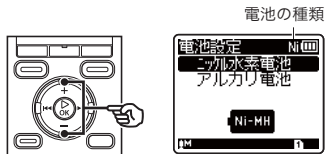
準備する

1

準備する

電池を設定する

- 1 + または - ボタンを押して本機に入れた電池の種類を選ぶ



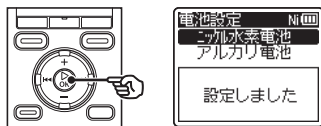
[ニッケル水素電池] (Ni-MH) :

オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) を入れた場合。

[アルカリ電池] (Alkaline) :

アルカリ乾電池を入れた場合。

- 2 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

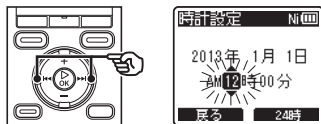


ご確認

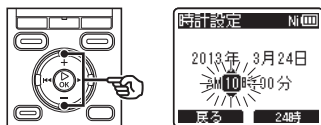
- 電池を設定後、ディスプレイに時計表示が点滅したら、「日時を合わせる」をご覧ください。

日時を合わせる

- 1 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



- 2 + または - ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、▶▶ または ◀◀ ボタンで点滅を移動し、+ または - ボタンで数字を変更します。

- 3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

ヒント

- 設定の途中に ▶OK ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 日時の表示形式を変更できません。詳しくは「日付・時刻を合わせる [時計設定]」を参照してください (P.111)。

充電する

パソコンの USB 端子に接続して充電する

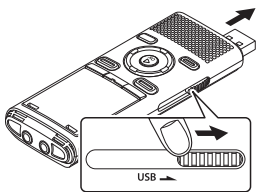
! V-823、V-822 のみ

ご確認

- USB 接続する前に、ホールドを解除してください (☞ P.17)。

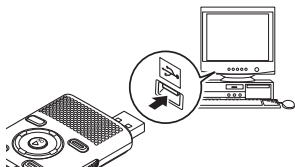
1 パソコンを起動する

2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせる



- USB 端子を引き出します。USB 端子カバーは本機内に格納されます。

3 本機が停止しているのを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



4 ▶OK ボタンを押して充電を開始する



- [電池設定] (☞ P.110) の設定が [ニッケル水素電池] になっている場合は、[OK ボタンで充電を開始します] と表示されます。この表示が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。

5 電池表示が [] になったら充電は終了です



充電時間: 約 3 時間*

- * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のみです。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。

充電する

USB 接続 AC アダプタ (別売 A514) に接続して充電する

1

充電する

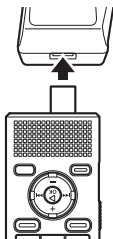
！ V-823、V-822 のみ

ご確認

- AC アダプタを接続する前に USB 接続設定を [AC アダプタ接続] に切り替えてください (※ P.113)。
- AC アダプタを接続する前に、ホールドを解除してください (※ P.17)。

1 本機を AC アダプタの USB 端子に接続する

USB 接続 AC アダプタ (A514) の USB 端子へ



2 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する



家庭用電源
コンセントへ

3 ▶OK ボタンを押して充電を開始する



OKボタンで
充電を開始します

- [電池設定] (※ P.110) の設定が [ニッケル水素電池] になっている場合は、[OK ボタンで充電を開始します] と表示されます。この表示が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。

4 [充電完了] と表示されたら充電は終了です

電源オフで充電した場合



電源オンで充電した場合







ご注意

- オリンパス製 USB 接続 AC アダプタ (A514) 以外の AC アダプタを使用しないでください。

充電する

ご注意

- パソコンの電源が入っているときにUSB接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときはUSBハブを使用しないでください。
- 充電の際は付属の充電池を入れ、**[電池設定]**の設定を**[ニッケル水素電池]**にしてください。
-  *1 または  *2 が点滅している場合は充電できません。周囲の温度が5～35℃の環境で充電してください。
 - *1  : 周囲の温度が低い場合
 - *2  : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必要に応じ、付属のUSB延長ケーブルをご使用ください(V-823のみ)。
- USB延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- [USB設定]**の設定を**[コンボジット]**にして充電する場合は、**[USB接続]**の設定を**[毎回確認]**にしてUSBケーブルを接続してください。**[USB接続]**の設定で**[ACアダプタ接続]**を選ぶと、充電できるようになります(※P.113)。

電池について

充電池について

ニッケル水素充電池(BR404)をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電:

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度:

充電池は化学製品です。推奨温度範囲で使用する場合にはも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲:

本機動作時: 0～42℃

充電: 5～35℃

長期保管: -20～30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電池を取り外して保管してください。

ご注意



- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間(1ヵ月以上)使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充電電を2、3回くり返してください。
- 充電池は関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分するときは、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

電池について


電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



-  が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、 と **【電池残量がありません】** が表示され、動作が停止します。

電池についてのご注意

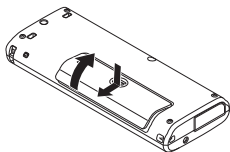
- マンガン電池は本機で使用できません。
- 電池を交換する際は、必ず本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 本機から電池を抜いた状態が1分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、日時の設定が必要になる場合があります。詳しくは「**日付・時刻を合わせる【時計設定】**」(P.111)をご覧ください。
- 本機を長期間ご使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。
- 電池交換の際は、単4形アルカリ乾電池、またはオリンバス製ニッケル水素充電電池BR404をご使用ください。
- 充電電池をお買い求めの際は、必ずニッケル水素充電電池BR404をお選びください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 電池表示が  であっても内蔵スピーカーで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてご使用ください。
- microSD カードご使用時は電池持続時間が短くなります (P.143)。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します (P.143)。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池は劣化により電池持続時間が短くなります (P.143)。
- 電池を交換したときは自動的に **【電池設定】** 画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます (P.110)。

microSD カードを入れる／取り出す

本機では内蔵メモリのほかに市販の microSD カード（microSD、microSDHC）をご使用になれます。

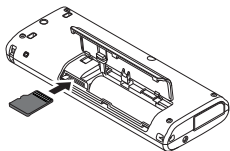
microSD カードを入れる

- 1 停止中に電池 / カードカバーを開ける



- microSD カードスロットは電池 / カードカバー内にあります。

- 2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

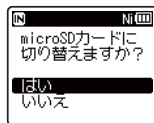
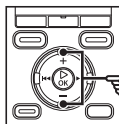


- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- カチッと音がする位置まで microSD カードが挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

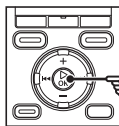
- 3 電池 / カードカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

- 4 microSD カードに記録する場合、+ または - ボタンを押して [はい] を選ぶ



- 5 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する



ヒント

- 記録メディアを内蔵メモリに切り替えることもできます (P.108)。

ご注意

- パソコンなど他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください (P.116)。

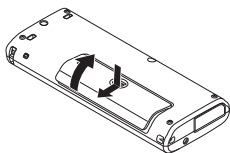
microSD カードを入れる／取り出す

microSD カードを取り出す

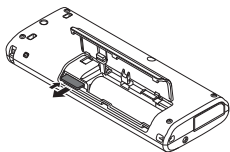
1

microSDカードを入れる／取り出す

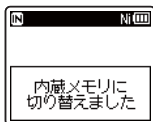
- 1** 停止中に電池 / カードカバーを開ける



- 2** microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- 「メモリ選択」の設定を「microSD カード」にしていた場合、「内蔵メモリに切り替えました」と表示されます。



- 3** 電池 / カードカバーを閉じる

ご注意

- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押しした指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カード、microSDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済の microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。

<http://olympus-imaging.jp/>
ホームページでは、当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

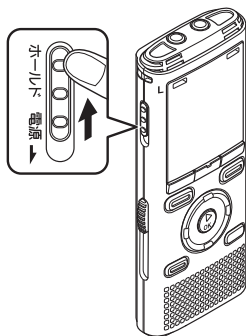
- ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください (P.116)。

誤操作を防止する

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

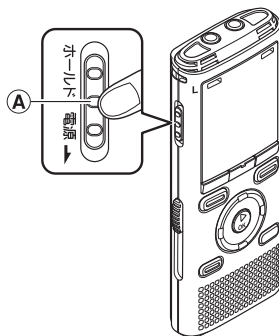
ホールドにする

- 1 電源 / ホールドスイッチを [ホールド] の位置にスライドさせる



ホールドを解除する

- 1 電源 / ホールドスイッチを ① の位置にスライドさせる



- ディスプレイに [ホールド] が表示され、ホールド状態になります。

ご注意

- ホールドの状態ですぐのボタンを押すと、[ホールド] 表示が2秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音を終了すると停止状態になります）。

電源を切る

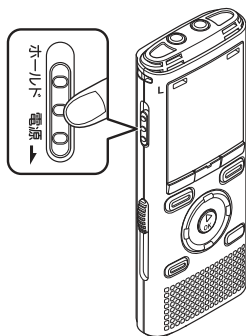
電源を切る

1

電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を切る

- 1 電源 / ホールドスイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる



- 電源を切る前の再生停止位置が記憶されています。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

スリープモードについて

電源を入れて 10 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的にスリープ（省電力）モードに切り替わります（※ P.109）。

- いずれかのボタンを押すとスリープモードは解除されます。

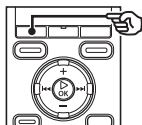
[ホーム] 画面の操作

モードを選択する

本機はICレコーダーとしてお使いいただけるほか、ミュージックプレーヤーやFMラジオ*としてもお楽しみいただけます。用途に合わせてモードを選択してください。

*V-823、V-822のみ

- 1** F1 (ホーム) ボタンを押して [ホーム] 画面にする

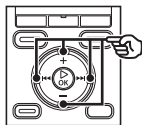


V-822、V-823 の場合



V-821 の場合

- 2** +、-または▶▶、◀◀ ボタンを押してモードを選ぶ



- V-821 の場合は ▶▶ または ◀◀ ボタンでモードを選びます。

【ホーム】画面の操作

モードを選択する

1

「ホーム」画面の操作

【レコーダー】を選んだ場合：



【レコーダー】モードに切り替わり、内蔵マイクを使って録音できます。また、マイクから録音したファイルやFMラジオ*から録音したファイルを再生できます（※ P.23、P.31）。

【ミュージック】を選んだ場合：



【ミュージック】モードに切り替わり、本機に転送した音楽ファイルを再生できます（※ P.31）。

【カレンダー検索】を選んだ場合：



【カレンダー検索】モードに切り替わり、録音した日付でファイルを検索できます（※ P.40）。

【FM ラジオ】*を選んだ場合：



【FM ラジオ】モードに切り替わり、FM ラジオを受信できます（※ P.44、P.49）。

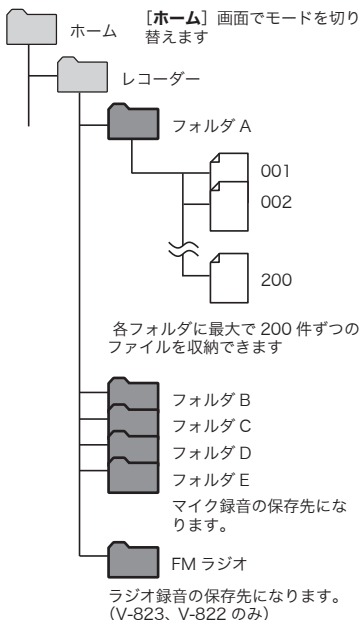
* V-823、V-822 のみ。

フォルダについて

データの記録メディアには、内蔵メモリまたは microSD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイルやコンテンツファイルは、ツリー構造で構成されたフォルダに振り分けられて保存されます。[レコーダー]フォルダおよび[ミュージック]フォルダ内のファイルはお好みの順番に並べ替えて管理できます (P.68)。

音声録音用フォルダ

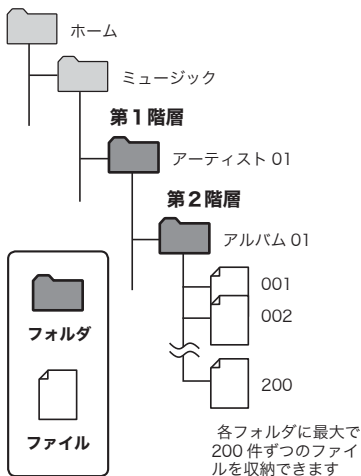
本機で録音した音声は、[レコーダー]フォルダ内の [フォルダ A] ~ [フォルダ E] に保存されます。



[レコーダー] フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機で表示されません。

音楽再生用フォルダ

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。



[ミュージック] フォルダには、[ミュージック] を含めて最大 300* フォルダまで作成できます。
* V-821 は最大 130 フォルダ

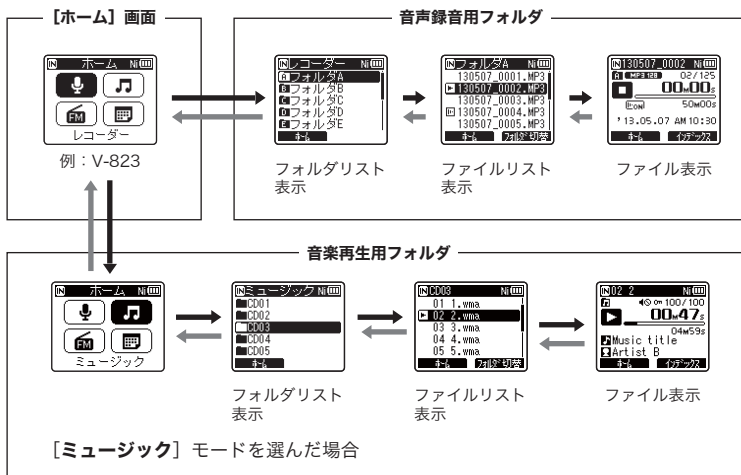
本機では、3 階層目のフォルダは認識できません。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については【フォルダについて】をご覧ください(※ P.21)。

1

フォルダとファイルの選びかた



→ 進む: ▶OK ボタン

押すたびにリスト表示で選んだフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。リスト表示は、▶▶ ボタンでも操作できます。

← 戻る: リストボタン

押すたびに1つ上の階層に戻ります。リスト表示では、◀◀ ボタンでも操作できます。

ヒント

- フォルダの階層を移動しているときにリストボタンを押し続けると、ファイル表示に戻ります。

+または-ボタン

フォルダやファイルを選びます。

【ホーム】画面:

本機のモードを切り替えます(※ P.19)。

リスト表示:

本機に記録されているフォルダとファイルのリストが表示されます。

F2 (フォルダ切替) ボタンを押すと次のフォルダのリスト表示に切り替わります。

ファイル表示:

選んだファイルの情報が表示されます。

録音について

録音する

本機では録音用に [A] ~ [E] の5つのフォルダを用意しています。ビジネス用やプライベート用など、録音する内容によって使い分けると便利です。

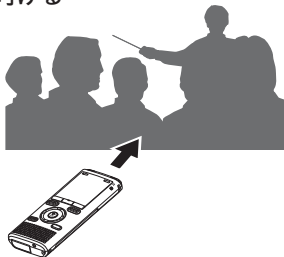
基本的な録音のしかた

- 1 [ホーム] 画面で+、-または▶▶、◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選び、▶OK ボタンを押す (P.19)

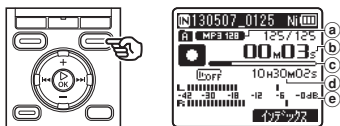
- 2 録音するフォルダを選ぶ (P.22)

- 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

- 3 録音したい方向に内蔵マイクを向ける

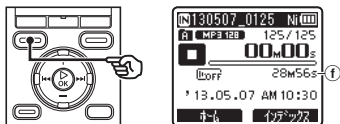


- 4 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- Ⓐ 録音モード
 - Ⓑ 録音経過時間
 - Ⓒ メモリ残量表示バー
 - Ⓓ 録音可能な残り時間
 - Ⓔ レベルメーター (録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します)
- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに [●] が点灯します。

- 5 停止 (■) ボタンを押して録音を停止する



- Ⓕ ファイルの長さ
- ディスプレイに [■] が点灯します。

録音する

2

録音する

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。

131001_0001.WMA

① ② ③

① 録音した日付：

録音した年月日になります。

② ファイル番号：

記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続して付けられます。

③ 拡張子：

本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。

- リニア PCM 形式：「**WAV**」*
- MP3 形式：「**MP3**」
- WMA 形式：「**WMA**」

* V-823、V-822 のみ。

ヒント

- [録音モード] は停止中に設定してください (P.78)。
- [ホーム] 画面の [レコーダー] を選択中に録音 (●) ボタンを押すと、録音できます。その際、録音したファイルは [フォルダA] に保存されます。

V-823、V-822 のみ：

- [FM ラジオ] モードに切り替えると、ラジオ放送を録音できます (P.55)。

V-823 のみ：

- 目的に合わせて手動で録音レベルを調整できます (P.76)。

ご注意

- 録音の頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [ファイル件数がいっぱいです] と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.42)。
- [メモリがいっぱいです] と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.42)。
- 本機に microSD カードを入れたときは、使用する記録メディアが [内蔵メモリ] なのか [microSD カード] なのかを間違えないように設定してください (P.108)。
- **■** ~ **■** 以外のフォルダを選んで録音 (●) ボタンを押すと、[A ~ E フォルダで録音してください] が点滅します。改めて **■** ~ **■** のいずれかのフォルダを選んでから録音を開始してください。
- 大事な録音をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください (P.116)。

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

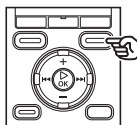
! V-823、V-822 のみ

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 200 件目のファイルが 2GB を越えると、録音を停止します。

録音を一時停止する／再開する

1 録音中に録音 (●) ボタンを押す



- 録音が一時停止し、ディスプレイに [●] が点灯し、[録音ポーズ中] が点滅します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

2 一時停止中に録音 (●) ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音が再開されます。

録音内容をすばやく確認するには

1 録音中に ▶OK ボタンを押す

- ディスプレイに [▶] が点灯します。
- 録音が中断され、今録音したファイルが再生されます。

V-823、V-822 のみ：

- [FM ラジオ] モードで録音中にこの操作をすると、[レコーダー] モードに自動的に切り替わり、今録音したファイルが再生されます。

録音する

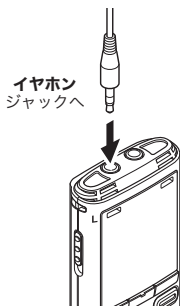
2

録音する

録音中の音声を聞くには

イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は+または-ボタンを使用して調節できます。

1 本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する



- 音量を変えても録音レベルは変化しません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を[00]にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

[録音レベル] (<small>※</small> P.76)	録音感度を設定します。
[録音モード] *1 (<small>※</small> P.78)	録音時の音質を設定できます。
[ズームマイク] *2 (<small>※</small> P.79)	内蔵ステレオマイクの指向性を設定できます。
[ローカットフィルタ] (<small>※</small> P.81)	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
[VCVA] (<small>※</small> P.82)	音声起動録音 (VCVA) の起動レベルを設定できます。
[音声同期録音] (<small>※</small> P.84)	音声同期録音の起動レベルを設定できます。
[録音シーン選択] (<small>※</small> P.29)	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。

*1 [FM ラジオ] モードのときの [録音モード] は以下の設定に固定されます (V-823、V-822 のみ)。

- [MP3 256kbps]
- [MP3 128kbps]

*2 V-823 のみ。

外部マイクを使って録音する

外部マイクで録音する

本機のマイクジャックに外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。録音中は本機のジャックに抜き差しをしないでください。

1 本機のマイクジャックに外部マイクを接続する



2 録音を開始する

- 録音に関する操作は「録音する」(P.23)をご覧ください。

ヒント

- ご使用いただける外部マイクは「アクセサリ (別売)」(P.135)をご覧ください。

ご注意

- 本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- 【録音モード】の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声録音されます(P.78)。
- 【録音モード】の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみ録音となります(P.78)。

2

外部マイクを使って録音する

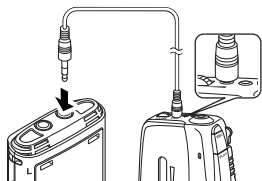
他の機器と接続して録音する

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

マイク
ジャックへ

他の機器の
音声出力端子へ



ご注意

- 外部機器を接続する場合、試し録りをして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

他の機器の
音声入力端子へ

イヤホン
ジャックへ



ご注意

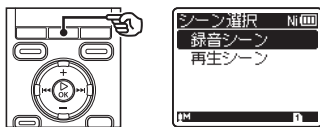
- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します（P.86～P.98）。

シーンに合わせて録音する [録音シーン]

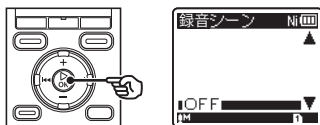
録音シーンの選びかた

本機には講義や口述など録音するシーンに合わせて最適なテンプレートがあらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

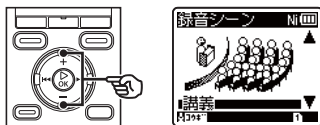
1 停止中にメニュー / シーン ボタンを押し続ける



2 ▶OK ボタンを押す



3 +または-ボタンを押して録音シーンを選ぶ

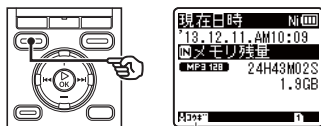


ヒント

- ▶▶I ボタンを押すと選択したテンプレートの設定を確認できます。◀◀ ボタンを押すと [録音シーン選択] 画面に戻ります。

4 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

5 停止 (■) ボタンを押して選択画面を終了する



録音シーン

- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定の変更ができません。これらの機能をご使用になる場合、[録音シーン] の設定を [OFF] にしてください。

シーンに合わせて録音する [録音シーン]

録音シーンに登録されている設定内容

【講義】：

【録音レベル】	【高 (講義)】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】*	【+6】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【会議】：

【録音レベル】	【中 (会議)】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】*	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【商談】：

【録音レベル】	【中 (会議)】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】*	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【口述】：

【録音レベル】	【低 (メモ)】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】*	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

* V-823 のみ

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV*、MP3、WMA 形式のファイルが再生できます。

* V-823、V-822 のみ。

基本的な再生のしかた

- 1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ (P.22)

ヒント

• ファイルは以下の場所に保存されています。

内蔵マイクで録音したファイル：

【レコーダー】フォルダ (A) ~ (B) フォルダ)

ラジオを録音したファイル：

【レコーダー】フォルダ (【FM ラジオ】* フォルダ)

パソコンから転送された音楽ファイル：

【ミュージック】フォルダ

* V-823、V-822 のみ

- 2 ▶ OK ボタンを押して再生を開始する



- a 記録メディア表示、ファイル名、フォルダ表示
 - b 再生経過時間
 - c 再生位置バー表示
 - d ファイルの長さ
 - e 録音日時
- ディスプレイに [▶] が点灯します。

- 3 + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

- 4 停止 (■) ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイに [■] が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

3

再生する

JP

31

再生する

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

【声だけ再生】*1*3 (☞ P.86)	録音した音声ファイルの音声部分だけを再生します。
【シャドーイング】 (☞ P.87)	音あり再生と音なし再生を交互に繰り返します。
【ノイズキャンセル】*3 (☞ P.89)	プロジェクターなどのノイズにより音声聞き取りにくいときに設定してください。
【ボイスバランサー】*1*3 (☞ P.90)	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
【音声フィルタ】*2*3 (☞ P.92)	低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調します。
【再生モード】 (☞ P.93)	3種類の再生モードが選べます。
【イコライザー】*4 (☞ P.96)	お好みの音質で音楽を楽しめます。
【スキップ間隔】 (☞ P.98)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。
【再生シーン】 (☞ P.100)	用途に応じたおすすめの設定に一括で切り替えます。操作性が向上します。

*1 V-823、V-822のみ。

*2 V-821のみ。

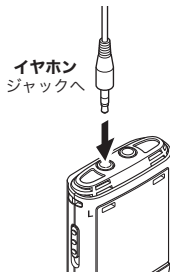
*3 **【レコーダー】** モードのときのみ機能します。

*4 **【ミュージック】** モードのときのみ機能します。

イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

1 本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する



2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

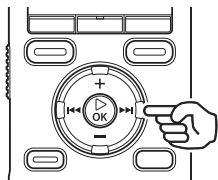
ヒント

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出力されません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を[00]にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送りをするには



停止中の早送り

1 停止中に ►►► ボタンを押し続ける

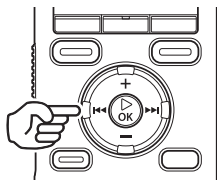
- ディスプレイに [FF] が点灯します。
- ►►► ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早送り

1 再生中に ►►► ボタンを押し続ける

- ►►► ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.39)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ►►► ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



停止中の早戻し

1 停止中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

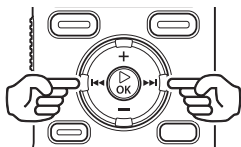
- ディスプレイに [RR] が点灯します。
- ◀◀◀ ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早戻し

1 再生中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

- ◀◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.39)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ◀◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



3

再生する

次のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に **▶▶** ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に **◀◀** ボタンを押す

1つ前のファイルの頭出し

- 1 ファイルの先頭位置で **◀◀** ボタンを押す
 - 再生中に1つ前のファイルにスキップするときは、2回連続して **◀◀** ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークやテンプレマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います (☞ P.39)。
- [スキップ間隔]** が **[ファイルスキップ]** 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できないときは、サンプリングレートや、ビット数、ビットレートが再生できる範囲かをご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式*	44.1 kHz	16 bit
MP3 形式	MPEG1 Layer3 : 32 kHz、 44.1 kHz、 48 kHz MPEG2 Layer3 : 16 kHz、 22.05 kHz、 24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、 11 kHz、 16 kHz、 22 kHz、 32 kHz、 44.1 kHz、 48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

* V-823、V-822 のみ。

- 可変ビットレート (1つのファイル内でビットレートを可変させて変換) の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

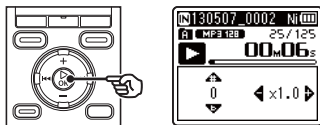
再生する

再生音声を変更する(ボイスチェンジャー*)

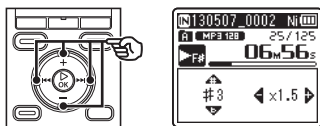
再生速度と音声の音程*を変更できます。再生速度は会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

* V-823、V-822 のみ。

1 再生中に▶OK ボタンを押す



2 +、-または▶▶、◀◀ ボタンを押す



▶▶、◀◀ ボタン：
再生速度の調整ができます。

+、- ボタン：
音程の調整*ができます(ボイスチェンジャー)。

* V-823、V-822 のみ。

3 ▶OK ボタンを押す

再生速度・
音程表示



ヒント

- 再生速度を変えても聞き取りにくいときは、音程を変えると聞きやすくなります。
- 速度・音程変更機能と[再生シーン]機能を同時に使用する場合は、[再生シーン]の設定が優先されます。再生シーンの設定内容を変更することはできません(※ P.100)。
- 速度・音程を変更した再生中でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生スピードや音程はそのまま保持されます。
- 再生速度と音程を変更すると電池の消耗が早くなります。
- 速度・音程変更時は以下の機能が使えません。
 - [ノイズキャンセル](※ P.89)

早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生速度を落として再生してください。

再生する

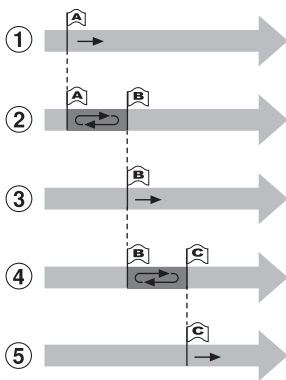
ABC リピート再生をする

再生中のファイルの一部を繰り返し再生できます。従来の A-B リピート機能に加えて、リピート再生中に反復区間を変更できます。ABC リピート再生中は語学学習の時に便利なシャドーイング再生機能が使用できます。シャドーイング再生機能を使う場合は、あらかじめ [シャドーイング] の設定を [ON] にしてください (※ P.87)。

3

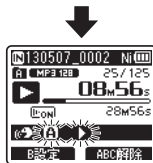
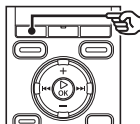
ABC リピート再生について

再生する



- ① 再生中にリピート再生したい部分の起点 (A) を決定します。
- ② 終点 (B) を決定するとリピート再生が始まります。
- ③ リピート再生中に起点 (A) を解除すると、終点だった部分 (B) が起点になり、再生を継続します。
- ④ 終点 (C) を決定すると再びリピート再生が始まります。
- ⑤ これらの操作を繰り返し、ファイルの終わりまでリピート再生の区間を更新することができます。

- 1 ABC リピートしたいファイルを選び、再生を開始する
- 2 ABC リピート再生の開始位置で、F1 (ABC 設定) ボタンを押す



- [シャドーイング] の設定が有効になっている場合は [] または [] が点灯します。

ヒント

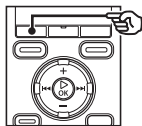
- [A] が点滅中も再生スピードの切り替え (※ P.35) や、早送り・早戻し (※ P.33) が行えます。
- [A] が点滅中にファイルの終わりまで到達すると、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

JP

36

ABC リpeat再生をする

- 3 ABC リpeat再生の終了位置で、もう一度 **F1 (B 設定)** ボタンを押す



- A-B 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。
- [シャドーイング] の設定が有効になっている場合は、繰り返し区間を通常の音量で再生した後、無音または小音量で繰り返し区間を再生します。解除されるまでこの一連の動作を繰り返します。

ABC リpeat再生を停止する場合：

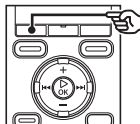
手順 6 へ

繰り返し位置を更新する場合：

手順 4 へ

繰り返し位置を更新する

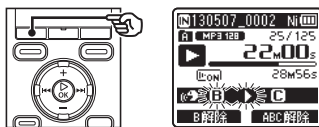
- 4 ABC リpeat再生中に **F1 (A 解除)** ボタンを押す



- A-B 区間が解除されます。[B] が開始位置になり再生を継続します。
- 再生スピードの切り替え (※ P.35) や早送り・早戻し (※ P.33) が行えます。
- シャドーイング再生は機能しません。

ABC リpeat再生をする

5 ABC リpeatの終了位置で F1 (C 設定) ボタンを押す

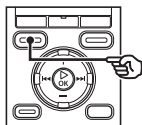


- B-C 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。
- シャドーイング再生が機能します。

ヒント

- 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返して、繰り返し区間を変更できます。

6 停止 (■) ボタンを押す



- 再生が停止します。ABC リpeat再生区間は解除されません。

ご注意

- ABC リpeat再生の開始位置よりも前に繰り返し位置を変更することはできません。
- ABC リpeat再生中はインデックスマークやテンプマークの挿入はできません (P.39)。

ABC リpeat再生を解除する

1 F2 (ABC 解除) ボタンを押す



- ABC リpeat再生の停止中に押すと ABC リpeat再生区間を解除します。
- ABC リpeat再生中に押すと、ABC リpeat再生区間を解除し、再生を継続します。

ご注意

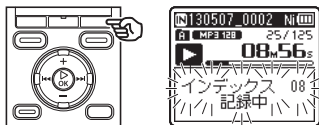
- 他のファイルに変更した場合や、ファイル表示画面から他の表示画面に切り替えた場合も ABC リpeat再生区間を解除します。

インデックスマーク・テンプマークについて

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。オリンパス製 IC レコーダーで作成されたファイルにはインデックスマークが付き、オリンパス製以外の機器で作成されたファイルにはテンプマークが付けられます。再生中のファイルに聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

- 1 インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**F2 (インデックス)** ボタンを押す

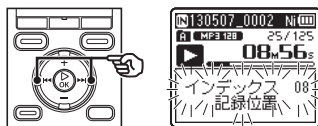


ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で99件まで付けることができます。99件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとするとき、**【これ以上記録できません】**と表示されず。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません (※ P.67)。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

- 1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する
- 2 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



- 3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間 (約2秒間) に、消去ボタンを押す
- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

カレンダー検索機能を使う

カレンダー検索機能を使ってファイルを探す

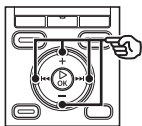
録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまった場合でも、日付が分かっていたらすぐに探し出せます。

3

カレンダー検索機能を使う

- 1 **F1 (ホーム) ボタン**を押して [ホーム] 画面にする

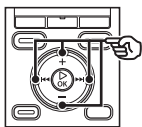
- 2 **+**、**-**または **▶▶**、**◀◀** ボタンを押して [カレンダー検索] を選ぶ



- V-821 の場合は **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して [カレンダー検索] を選択します。

- 3 **▶OK** ボタンを押す

- 4 **+**、**-**または **▶▶**、**◀◀** ボタンを押して日付を選ぶ



- 選択した日に登録されているファイル数
- 現在の日付
- ファイルを録音した日付
- 選択した日付

- ファイルが保存されている日付には アンダーバーが表示されます。

▶▶、**◀◀** ボタン：

- 前日/翌日へ移動します。押し続けると次の録音ファイルがある日付にスキップします。

+、**-** ボタン：

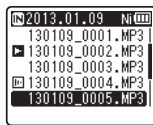
- 前週/翌週へ移動します。

F1、**F2** ボタン：

- 前月/翌月へ切り替わります。

- **停止** (■) ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ホーム] 画面に戻ります。

- 5 **▶OK** ボタンを押す



- 6 **+**または**-**ボタンを押してファイルを選ぶ

- 7 **▶OK** ボタンを押して再生を開始する

ご注意

- 検索できるファイルは、音声録音用フォルダ ([FM] ~ [FM] および [FM ラジオ] *フォルダ) の中に保存されているファイルのみです。

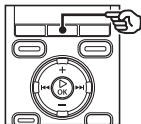
*V-823、V-822 のみ

再生シーンを選ぶ [再生シーン]

再生シーンを選ぶ

本機には「**文字起こし**」および「**語学学習**」という再生するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ2種類登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。詳しくは「**再生シーンを設定する**」をご覧ください (P.100)。

- 1** 停止中または再生中に
メニュー/シーンボタンを
押し続ける



- 再生中にメニュー/シーンボタンを押した場合、手順 **4** に進んでください。

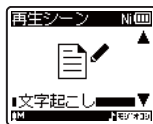
- 2** + または - ボタンを押して
[再生シーン] を選ぶ



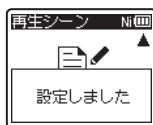
- 3** ▶ **OK** ボタンを押す



- 4** + または - ボタンを押して
再生シーンを選ぶ



- 5** ▶ **OK** ボタンを押して設定を
完了する



ヒント

- 停止中に再生シーンを切り替えた場合は、**停止 (■)** ボタンを押して、メニュー画面を終了してください。

3

再生シーンを選ぶ [再生シーン]

消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ファイルを消去する

3

消去する

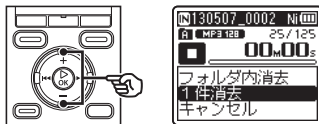
- 1 消去したいファイルを選ぶ
(P.22)

- 2 ファイル表示画面で停止中に消去ボタンを押す



・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 + または - ボタンを押して [フォルダ内消去] または [1件消去] を選ぶ



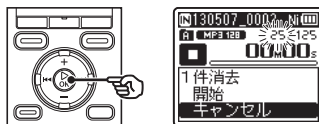
[フォルダ内消去] :

選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルを全て消去します。

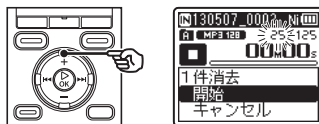
[1件消去] :

選択したファイルを消去します。

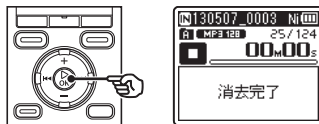
- 4 ▶ OK ボタンを押す



- 5 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 6 ▶ OK ボタンを押す

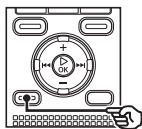


・ ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

フォルダを消去する

1 消去したいフォルダを選ぶ (P.22)

2 フォルダ表示画面で停止中に 消去ボタンを押す



- ・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 + ボタンを押して [開始] を 選ぶ



4 ▶OK ボタンを押す

- ・ ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

ご注意

- ・ 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ・ 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください (P.108)。
- ・ ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用設定されているファイルは消去されません (P.67)。
- ・ 本機のデフォルトフォルダの [レコーダー] ([フォルダ A] ~ [フォルダ E] および [FM ラジオ] *) [ミュージック] は消去できません。
* V-823、V-822 のみ。
- ・ [ミュージック] フォルダでは、[ミュージック] 以外のフォルダを消去できません。
- ・ 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- ・ 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - ② 処理中に電池を取り外す。
 - ③ 記録メディアが [microSD カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

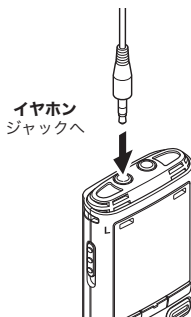
FM ラジオについて (V-823、V-822 のみ)

FM ラジオをご使用になる前に

ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください。

ご確認

- 付属のイヤホンはFMアンテナとして機能します。イヤホンが接続されていないと【イヤホンを挿入してください】と表示され、FM ラジオを受信できません。



ご注意

- 放送エリアの外や、山間部などの地形により電波の届かない場所では、FM ラジオを受信できません。
- 放送エリア内であっても、電波が届きにくくなる場所（トンネルや地下道、ビルおよびマンションの内部や建物の陰など）では、ラジオ受信ができないことがあります。
- ラジオを受信する場合、携帯電話、パソコンやテレビなど他の電気製品の近くで使用しないでください。ノイズが発生することがあります。
- AC アダプタ（A514 等）と接続して使用するとノイズが発生します。FM ラジオをご使用の際は、必ず電池でご使用ください。

ヒント

- ビルの陰や建物の中では、FM ラジオを受信できない場合があります。ビルの陰から移動するか、建物の中では窓辺に移動すると放送波を受信しやすくなります。

自動で放送局を登録する

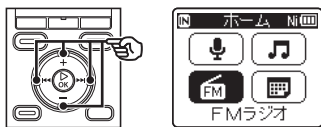
地域で放送局を登録する [地域で登録]

ご使用になる地域の代表的な FM 放送局を登録します。あらかじめ放送局の登録をしておくことで放送局を呼び出すときに便利です。すでに登録されている放送局のプリセット番号を更新します。

- 1 本機のイヤホンジャック
にイヤホンを接続する

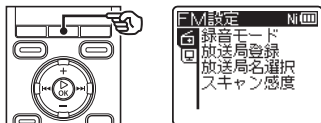
- 2 F1 (ホーム) ボタンを押して
[ホーム] 画面にする

- 3 +、- または ▶▶、◀◀ ボタンを押して [FM ラジオ]
を選ぶ



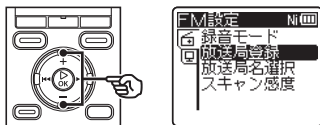
- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 メニュー / シーンボタンを押す

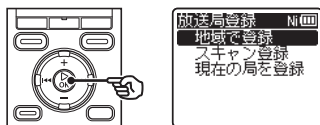


- 6 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

- 7 + または - ボタンを押して
[放送局登録] を選ぶ



- 8 ▶OK ボタンを押す

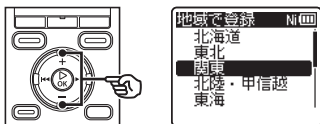


- 9 もう一度 ▶OK ボタンを押す

自動で放送局を登録する

地域で放送局を登録する [地域で登録]

- 10 + または - ボタンを押してお住まいの地方を選ぶ



ヒント

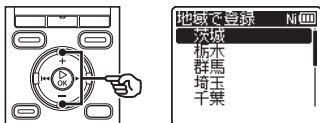
- プリセット番号は周波数順に自動ソートされます。
- 設定可能な地域については「**地域リスト**」をご覧ください (P.146)。

4

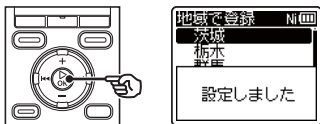
自動で放送局を登録する

- 11 ▶ OK ボタンを押す

- 12 + または - ボタンを押してお住まいの都道府県を選ぶ



- 13 ▶ OK ボタンを押す



- 「**設定しました**」と表示されたら終了です。

自動で放送局を登録する

受信可能な放送局を追加する [スキャン登録]

ご使用になる地域周辺で受信可能なFM放送局の周波数を登録します。[地域で登録] (P.45) を実行して登録したリストに追加登録します。

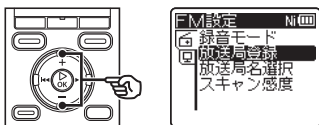
- 1 「地域で放送局を登録する」の手順1～4を操作してFMラジオモードにする (P.45)

- 2 メニュー / シーンボタンを押す



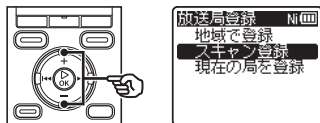
- 3 ▶OKボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して [放送局登録] を選ぶ



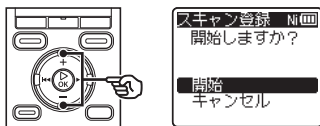
- 5 ▶OKボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [スキャン登録] を選ぶ



- 7 ▶OKボタンを押す

- 8 +または-ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 9 ▶OKボタンを押す

- [スキャン登録が完了しました] と表示されたら終了です。

自動で放送局を登録する

受信可能な放送局を追加する [スキャン登録]

ヒント

- プリセット番号は周波数順に自動ソートされます。
- 放送局は最大で 30 件まで登録できます。30 件を超えると **【これ以上登録できません】** と表示されます。
- 検出した放送局が **【地域で登録】** (P.45) で設定した地域に無い場合は、登録名称が **【ラジオ局 01】** (連番) となります。登録名称は **【放送局名選択】** で変更できます (P.53)。

4

自動で放送局を登録する

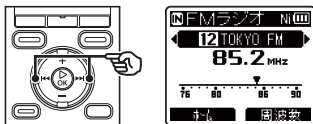
FM ラジオを聞く

FM ラジオを聞く

本機でステレオ FM ラジオを受信できます。

- 1 「地域で放送局を登録する」の手順 1～4 を操作して FM ラジオモードにする (☞ P.45)

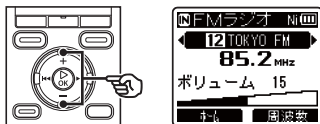
- 2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して選局をする



ヒント

- 受信モードを周波数モードに切り替えて、マニュアル受信の方法で周波数を調整すると、自動登録で検出されなかった放送局を受信できることがあります (☞ P.50)。
- 受信した放送局は追加登録できます (☞ P.51)。
- FM ラジオ受信をやめるときは、F1 (ホーム) ボタンを押して [ホーム] 画面に戻ってください。
- イヤホンの本機に接続したまま、内蔵スピーカを使ってラジオ音声を聞くことができます (☞ P.122)。

- 3 + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

FM ラジオに関する設定

放送局の自動登録や、オート受信時のスキャン感度を設定できます。

【放送局登録】 (☞ P.45)	受信可能な放送局を探したり、受信した放送局をリストに登録するときに選びます。
【放送局名選択】 (☞ P.53)	受信している周波数と同じ周波数を使用している放送局リストから放送局名を選んで登録します。
【スキャン感度】 (☞ P.121)	オート受信時のスキャン感度を設定します。
【出力設定】 (☞ P.122)	FM ラジオの音声をイヤホンで聞くか、スピーカから聞くかを選べます。

FM ラジオを聞く

受信モードを切り替える

受信状況に合わせて受信モードを選べます。目的の放送局の電波が弱く自動登録では放送局を検出できない場合は、マニュアル受信に切り替えると周波数の微調整ができます。

- 1 「地域で放送局を登録する」の手順 1～4 を操作して FM ラジオモードにする (P.45)

- 2 F2 ボタンを押して受信モードを選ぶ

ヒント

- あらかじめ放送局を登録 (P.45) しておくと、F2 ボタンを押すたびにプリセットモードまたは周波数モードに切り替わります。
- 放送局が登録されていない場合はプリセットモードに切り替わりません。

- 3 ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンを押して変更する

周波数モード (オート受信/マニュアル受信)

- ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンを押して受信周波数を調整して受信します (マニュアル受信)。
- ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンを押し続けると受信可能な放送局をスキャンします (オート受信)。
⑥ 受信周波数
- 放送局の登録をしていない周波数を受信しているときに F2 ボタンを押すと、受信していた周波数に近いプリセット番号の放送局に切り替わります。
- 放送局の混信などによって、スキャン実行時の感度を抑えると、受信できることがあります。【スキャン感度】 (P.121)

プリセットモード

- ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンを押して登録済みの放送局 (プリセット番号) を選べます。
⑤ プリセット番号



放送局を追加登録する

手動で受信した放送局を追加登録する [現在の局を登録]

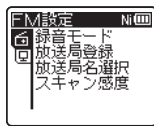
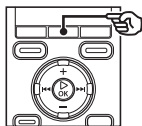
周波数モードで受信した放送局を追加登録できます。

- 1 「地域で放送局を登録する」の手順 1～4 を操作して FM ラジオモードにする (P.45)

- 2 F2 ボタンを押して周波数モードにする

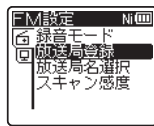
- 3 ►► または ◀◀ ボタンを押して登録したい放送局を受信する

- 4 メニュー / シーンボタンを押す



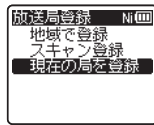
- 5 ► OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 6 + または - ボタンを押して [放送局登録] を選ぶ



- 7 ► OK ボタンを押す

- 8 + または - ボタンを押して [現在の局を登録] を選ぶ

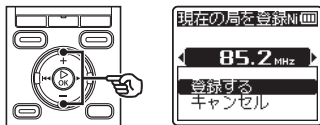


- 9 ► OK ボタンを押す

放送局を追加登録する

手動で受信した放送局を追加登録する [現在の局を登録]

- 10 十または一ボタンを押して
[登録する] を選ぶ



- 11 ▶ OK ボタンを押す

- ・ [プリセット (番号) を登録しました]
と表示されたら終了です。

ヒント

- ・ 放送局は最大で 30 件まで登録できます。30 件を超えると [これ以上登録できません] と表示されます。
- ・ プリセット番号は周波数順に自動ソートされます。
- ・ 受信した放送局が [地域で登録] (P.45) で設定した地域に無い場合は、登録名称が「ラジオ局 01」(連番) となります。登録名称は [放送局名選択] で変更できます (P.53)。

登録した放送局名を変更する [放送局名選択]

放送局の登録名称を変更する

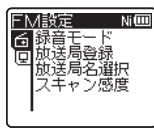
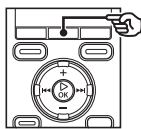
登録した放送局の名称を変更できます。名称を変更する放送局と同じ周波数を使用している放送局名リストから選択します。

1 「地域で放送局を登録する」の手順 1～4 を操作して FM ラジオモードにする (P.45)

2 F2 ボタンを押してプリセットモードにする

3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して登録名称を変更したいプリセット番号を選ぶ

4 メニュー / シーンボタンを押す



5 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

6 + または - ボタンを押して [放送局名選択] を選ぶ



7 ▶OK ボタンを押す

8 + または - ボタンを押して登録名称を選ぶ



9 ▶OK ボタンを押す

・ [設定しました] と表示されたら終了です。

登録した放送局を削除する

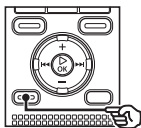
不要な放送局を登録から削除する

- 1** 「地域で放送局を登録する」の手順 1～4 を操作して FM ラジオモードにする (P.45)

- 2** F2 ボタンを押してプリセットモードにする

- 3** ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して削除したいプリセット番号を選ぶ

- 4** 消去ボタンを押す



- 5** + または - ボタンを押して [消去する] を選ぶ



- 6** ▶ OK ボタンを押す



- ・ [プリセット (番号) を消去しました] と表示されたら終了です。

ヒント

- ・ プリセット番号は周波数順に自動ソートされます。

FM ラジオを録音する

FM ラジオを録音する

FM ラジオがきれいに聞こえても録音を開始すると、受信環境によってはノイズが入ることがあります。失敗のない録音をするために試し録りをしてください。またできるだけ受信状況の良い場所で録音してください。

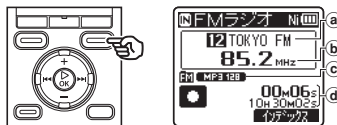
ご確認

- [FM 設定] メニューの [出力設定] が [スピーカ] に設定されていると録音できません。録音を始める前に [イヤホン] に設定してください (P.122)。

1 「地域で放送局を登録する」
の手順 1～4 を操作して
FM ラジオモードにする
(P.45)

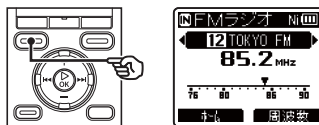
2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを
押しして録音したい放送局を
受信する

3 録音 (●) ボタンを押して
録音を開始する



- a プリセット番号、受信中の放送局名
 - b 受信中の周波数
 - c 保存先フォルダ表示、録音フォーマット表示
 - d 録音経過時間、録音可能な残り時間
- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに [●] が点灯します。

4 停止 (■) ボタンを押して
録音を停止する



- 録音したファイルは、[レコーダー] フォルダ内の [FM ラジオ] フォルダに自動的に保存されます。

4

FM ラジオを録音する

JP

55

FM ラジオを録音する

FM ラジオを録音する

ヒント

- FM ラジオを録音したファイルには、音声録音の際につけられるファイル名 (P.24) の前に「FM」が追加されます。

FM130715_0007.MP3

日付: 130715 (2013 年 7 月 15 日)

4

FM ラジオを録音する

ご注意

- FM ラジオを録音する場合、必ずイヤホンを**イヤホン**ジャックに接続してください。

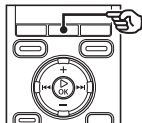
メニューについて

メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

- 1** 録音中、再生中または停止中にメニュー / シーンボタンを押す



ヒント

- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください (P.64)。

- 2** + または - ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ



- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

- 3** ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

- 4** + または - ボタンを押して設定項目を選ぶ



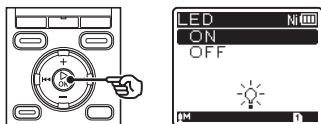
5

メニュー設定のしかた

メニュー設定のしかた

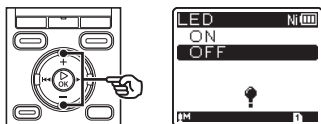
基本的な操作のしかた

5 ▶OK ボタンを押す

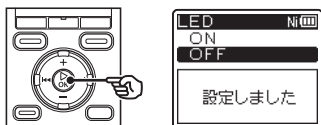


- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

6 +または-ボタンを押して設定を変更する

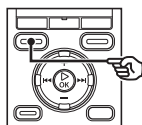


7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する



- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、メニュー / シーン ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
ファイル設定 [File Menu]	声だけ抽出 *1 *2 [Voice Detect] ☞ P.65	音声ファイルの音声部分のみを抽出できます。
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.67	ファイルの誤消去を防ぎます。 [ON] [OFF]
	並び替え [Sort by] ☞ P.68	フォルダ内のファイルを並べ替えて再生順序を変更できます。 [名前順] [日付昇順] [日付降順]
	ファイル移動/コピー *1 [Move/Copy] ☞ P.69	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.72	本機で録音したファイル (PCM*1、MP3) を分割できます。
	プロパティ [Property] ☞ P.74	選んだファイルまたはフォルダの情報を確認できます。 ファイルを選んだ場合： [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] [アーティスト] [アルバム] フォルダを選んだ場合： [名前] [フォルダ数] *3 [ファイル数]

*1 V-823、V-822 のみ。

*2 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*3 [ミュージック] モードのときのみ表示されます。



選択肢欄の 表記は初期設定です

メニューの一覧

■ 録音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
録音設定 [Rec Menu]	録音レベル [Rec Level] ※ P.76	[高 (講義)] [中 (会議)] [低 (メモ)] [マニュアル] *1
	録音モード [Rec Mode] ※ P.78	[PCM 44.1kHz] *2 [MP3 256kbps] *2 [MP3 192kbps] *3 [MP3 128kbps] [WMA 32kbps mono] [WMA 8kbps mono]
	ズームマイク *1 [Zoom Mic] ※ P.79	[-3] ~ [OFF] ~ [+6]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ※ P.81	[ON] [OFF]
	VCVA [VCVA] ※ P.82	[ON] [OFF]
	音声同期録音 [V-Sync. Rec] ※ P.84	[1 秒] [2 秒] [3 秒] [5 秒] [OFF]
	録音シーン [Rec Scene] ※ P.29	[講義] [会議] [商談] [口述] [OFF]

*1 V-823 のみ。

*2 V-823、V-822 のみ。

*3 V-821 のみ。

メニューの一覧

■ 再生に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
再生設定 [Play Menu]	声だけ再生 *1 *3 [Voice Playback] ※ P.86	[ON] [OFF]
	シャドローイング [Shadowing] ※ P.88	[ON (無音)] [ON (小音量)] [OFF]
	ノイズキャンセル *3 [Noise Cancel] ※ P.89	[HIGH] [LOW] [OFF]
	ボイスバランサー *1 *3 [Voice Balancer] ※ P.90	[ON] [OFF]
	音声フィルタ *2 *3 [Voice Filter] ※ P.92	[ON] [OFF]
	再生モード [Play Mode] ※ P.93	[レコーダー] : [再生範囲] *3 : [ファイル] [フォルダ] [ミュージック] : [再生範囲] *4 : [ファイル] [フォルダ] [全ファイル] [リピート] *4 : [ON] [OFF] [ランダム] *4 : [ON] [OFF]
	イコライザー *4 [Equalizer] ※ P.96	[ROCK] [POP] [JAZZ] [USER] [OFF]
	スキップ間隔 [Skip Space] ※ P.98	[スキップ] : [ファイルスキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ] [10分スキップ] [逆スキップ] : [ファイルスキップ] [1秒スキップ] ~ [3秒スキップ] [5秒スキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ]
	再生シーン [Play Scene] ※ P.100	[文字起こし] [語学学習] [OFF]

*1 V-823、V-822のみ。

*2 V-821のみ。

*3 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*4 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

メニューの一覧

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
表示/音設定 [LCD/Sound Menu]	バックライト [Backlight] ※ P.102	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [OFF]
	コントラスト [Contrast] ※ P.103	[01] ~ [06] ~ [12]
	LED [LED] ※ P.104	[ON] [OFF]
	ビーブ音 [Beep] ※ P.105	[ON] [OFF]
	言語選択 (Lang) [Language] ※ P.106	[日本語] [English]
	スピーカ出力 [Speaker] ※ P.107	[ON] [OFF]

5

メ
ニ
ュ
ー
の
一
覧

■ 本機に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
本体設定 [Device Menu]	メモリ選択 [Memory Select] ※ P.108	[内蔵メモリ] [microSD カード]
	スリープ [Power Save] ※ P.109	[5 分] [10 分] [30 分] [1 時間] [OFF]
	電池設定 [Battery] ※ P.110	V-823、V-822 のみ： [ニッケル水素電池] [アルカリ電池] V-821 のみ： [ニッケル水素電池] [アルカリ電池]
	時計設定 [Time & Date] ※ P.111	[時] [分] [年] [月] [日]
	USB 設定 [USB Settings] ※ P.113	[USB 接続]： [PC 接続] [AC アダプタ接続] [毎回確認] [USB クラス]： [ストレージ] [コンボジット]
	設定リセット [Reset Settings] ※ P.115	メニュー設定（時計設定を除く）を 初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ※ P.116	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ※ P.118	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ※ P.119	[モデル] [バージョン] [シリアル番号]

JP

62

メニューの一覧

■ FM ラジオに関するメニュー : (V-823、V-822 のみ)

[FM ラジオ] モードのときのみ機能します。

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
FM 設定 [FM Menu]	録音モード [Rec Mode] P.120	[MP3 256kbps] [MP3 128kbps]
	放送局登録 [Set stations] P.45、P.47、P.51	放送局を登録します。 [地域で登録] [スキャン登録] [現在の局を登録]
	放送局名選択 [Select station] P.53	同じ周波数を使用している放送局名から選択します。
	スキャン感度 [Scan Level] P.121	FM 電波のスキャン感度を設定します。 [感度高] [感度低]
表示/音設定 [LCD/Sound Menu]	バックライト [Backlight] P.102	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [OFF]
	LED [LED] P.104	[ON] [OFF]
	出力設定 [Output] P.122	[イヤホン] [スピーカ]

メニューの一覧

■ 録音動作中に設定できる メニュー項目：

録音レベル

ズームマイク *1

ローカットフィルタ

VCVA

バックライト

LED

■ 再生動作中に設定できる メニュー項目：

フロパティ

ノイズキャンセル *2

ボイスバランス *2 *3

音声フィルタ *2 *4

再生モード

イコライザー *5

スキップ間隔

バックライト

LED

■ ラジオ録音中に設定できる メニュー項目： (V-823、V-822 のみ)

バックライト

LED

*1 V-823 のみ

*2 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*3 V-823、V-822 のみ

*4 V-821 のみ

*5 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

5

メニューの一覧

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルの音声部分を抽出する [声だけ抽出]

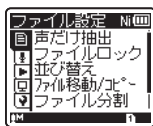
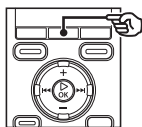
本機で録音した音声ファイルの音声部分を抽出します。抽出処理されたファイルを再生すると、非音声部分は自動的にスキップされます (P.86)。

! V-823、V-822のみ

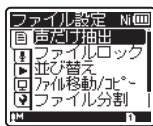
ご確認

- 音声抽出機能は [レコーダー] モードのときのみ機能します。

- 1 音声抽出したいファイルが収録されているフォルダを選ぶ (P.22)
- 2 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

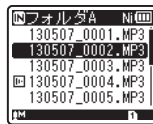


- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して音声抽出したいファイルを選ぶ

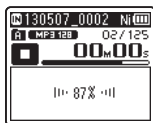
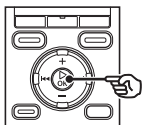


- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルの音声部分を抽出する [声だけ抽出]

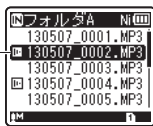
6 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイに進行状況をパーセンテージで表示します。
- [声だけ抽出処理が完了しました] と表示されたら終了です。

7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

声だけ抽出



ヒント

- 音声部分の抽出が終了すると、[再生設定] メニューにある [声だけ再生] の設定が [ON] に切り替わります (※ P.86)。

ご注意

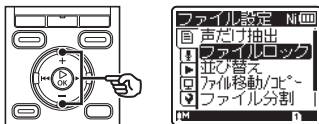
- ファイルが保存されていないフォルダを選んである場合、[ファイルがありません] と表示されます。ファイルが保存されているフォルダを選んでから操作してください。
- 楽器の演奏などを録音したファイルでは、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音時における音声小さい場合 (レベルメーターが -12 dB 以下) や、周囲のノイズによっては、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音した音声ファイルの容量が大きいくほど、抽出処理に時間がかかります。処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ充電するか、または新しい電池に交換することをおすすめします。

ファイルメニュー [ファイル設定]

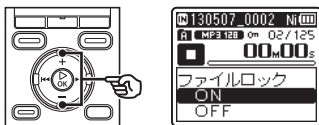
ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません (※ P.42)。

- 1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ (※ P.22)
- 2 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ファイルロック] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON]:
ファイルロックがかかります。

[OFF]:
ファイルロックが解除されます。

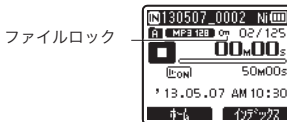
• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル選択] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルリスト表示画面



ファイル表示画面



ファイルメニュー [ファイル設定]

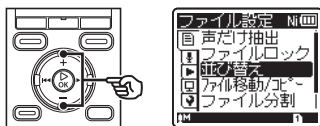
ファイルを並べ替える [並び替え]

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。並べ替え方法は [名前順]、[日付昇順]、[日付降順] の3通りから選べます。

1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

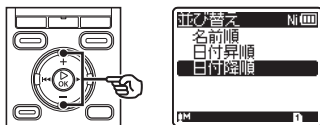
2 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

3 + または - ボタンを押して [並び替え] を選ぶ



4 ▶OK ボタンを押す

5 + または - ボタンを押して [名前順]、[日付昇順] または [日付降順] を選ぶ



[名前順] :

ファイルを自動的に名前順で並べ替えます。

[日付昇順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の昇順で並べ替えます。

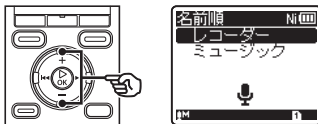
[日付降順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の降順で並べ替えます。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル選択] 画面に戻ります。

6 ▶OK ボタンを押す

7 + または - ボタンを押して [レコーダー] または [ミュージック] を選ぶ



[レコーダー] : [レコーダー] フォルダ内の全ファイル ([FM ラジオ] * フォルダ含む) を並べ替えます。

[ミュージック] : [ミュージック] フォルダ内の全ファイルを並べ替えます。

* V-823、V-822 のみ

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルを並べ替える [並び替え]

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。
- [順番を変更しました] と表示されたら終了です。

9 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- [名前順] を選んだ場合、ファイル名の先頭から20文字までの文字コードで比較して順番を決定します。

ファイルを移動/コピーする [ファイル移動/コピー]

内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。

! V-823、V-822 のみ

- あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ (P.22)
- 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- +または-ボタンを押して [ファイル移動/コピー] を選ぶ

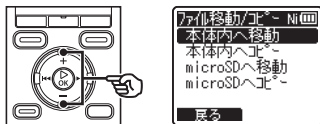


- ▶OK ボタンを押す

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルを移動/コピーする [ファイル移動/コピー]

- 6** +または-ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ



[本体内へ移動] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。

[本体内へコピー] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。

[microSD へ移動] :

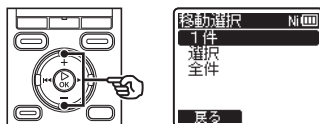
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。

[microSD へコピー] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル選択] 画面に戻ります。

- 8** +または-ボタンを押してファイルの移動またはコピー件数を選ぶ



[1件] : 指定した1件を選びます。

[選択] : 複数のファイルを選びます。

[全件] : フォルダ内のファイルをすべて選びます。

- 9** ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る



- 7** ▶OK ボタンを押す

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルを移動/コピーする [ファイル移動/コピー]

[1件] を選んだ場合:

- ① **+** または **-** ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、**▶OK** ボタンを押す。



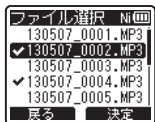
[選択] を選んだ場合:

- ① **+** または **-** ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、**▶OK** ボタンを押す。



ヒント

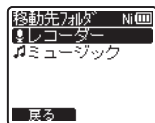
- 選んだファイルを解除する場合は、解除したいファイルを選んでもう一度**▶OK** ボタンを押します。
- ② 手順 ① を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、**F2** ボタンを押す。



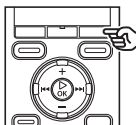
[全件] を選んだ場合:

自動的に現在のフォルダ内の全てのファイルが選択され、[移動先フォルダ] 画面に移ります。

- 10 **+**、**-** または **▶▶**、**◀◀** ボタンを押してファイルの移動先またはコピー先のフォルダを選ぶ



- 11 **F2** ボタンを押す



- 進行状況をパーセンテージで表示します。
- **[移動しました]** または **[コピーしました]** と表示されたら終了です。

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルを移動/コピーする [ファイル移動/コピー]

ヒント

- ファイルロック (P.67) をかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が 200 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまででは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- DRM が施されているファイルの移動またはコピーはできません。
- [レコーダー] フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。[レコーダー] フォルダ内の [] ~ [] フォルダおよび [FM ラジオ]* フォルダのいずれかを選んでください。
* V-823、V-822 のみ

ファイルを分割する [ファイル分割]

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくなることができます。

ご確認

ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式、PCM 形式* のみです。

* V-823、V-822 のみ。

1 ファイルを再生して分割したい位置で停止させる

- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です。

2 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [ファイル分割] を選ぶ



ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルを分割する [ファイル分割]

5 ▶OK ボタンを押す

6 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが[分割中!]に変わり、ファイル分割を開始します。
[分割しました] と表示されたら終了です。

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「ファイル名_1」、後半部分のファイルが「ファイル名_2」となります。

ご注意

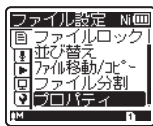
- ファイル表示画面以外からは [ファイル分割] はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 200 件の場合、分割できません。
- ファイルロック (P.67) がかかっているファイルは分割できません。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルやフォルダの情報を見る [プロパティ]

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

- 1 情報を表示したいファイルまたはフォルダを選ぶ
(☞ P.22)
- 2 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [プロパティ] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

ファイルを選んだ場合：

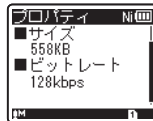
☞ 手順 6 へ

フォルダを選んだ場合：

☞ 手順 8 へ

ファイルの情報

- 6 +または-ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

- ・ [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] *1 [アーティスト] *2 [アルバム] *2 が表示されます。

*1 リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、[ビットレート] 部にサンプリングレートやビット数が表示されます。

*2 タグ情報がファイルにない場合、**[UNKNOWN_ARTIST]**、**[UNKNOWN_ALBUM]** と表示されます。

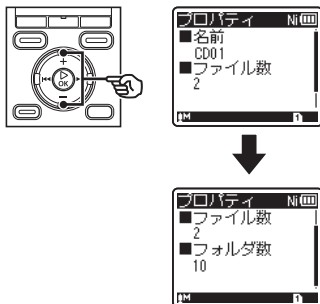
ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルやフォルダの情報を見る [プロパティ]

- 7 情報を確認したら ▶OK ボタンを押して、手順 10 に進む
- 9 情報を確認したら ▶OK ボタンを押して、手順 10 に進む

フォルダの情報

- 8 + または - ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

- [名前] [ファイル数] [フォルダ数] が表示されます。
- [レコーダー] モードの場合、[フォルダ数] は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

5

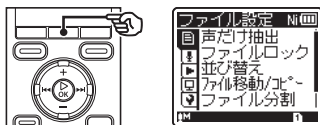
ファイルメニュー「ファイル設定」

録音メニュー [録音設定]

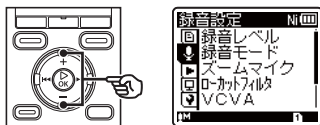
録音感度を選択する [録音レベル]

目的に合わせて録音レベルの感度を切り替えられます。
録音レベルを手動で調整することもできます (V-823 のみ)。

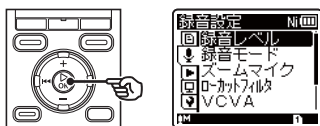
- 1** 停止中または録音中に
メニュー / シーンボタンを
押す



- 2** + または - ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

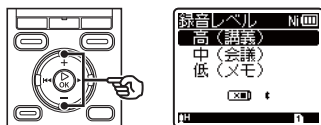


- 3** ▶ OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する



- 4** ▶ OK ボタンを押す

- 5** + または - ボタンを押して
[高 (講義)]、[中 (会議)]、
[低 (メモ)] または
[マニュアル] * を選ぶ



[高 (講義)] :
最も録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

[中 (会議)] :
打合せや少人数の会議などの録音に適しています。

[低 (メモ)] :
最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

[マニュアル] * :
録音レベルを 30 段階に調整できます。

* V-823 のみ

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

録音メニュー [録音設定]

録音感度を選択する [録音レベル]

- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

録音レベル



- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ヒント

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、[録音レベル]を [低 (メモ)] に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて (5～10cm) 録音してください。

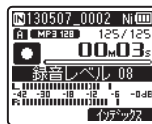
ご注意

- [録音レベル]が [高 (講義)] [中 (会議)] [低 (メモ)] の場合、録音レベルは自動的に調整されます。あまりにも大きな音を入力すると、[録音レベル]を [高 (講義)] [中 (会議)] [低 (メモ)] に設定していてもノイズが発生することがあります。

録音レベルを調整する

! V-823のみ

- 1 録音中または録音一時停止中に▶▶▶または◀◀◀ボタンを押して録音レベルを調整する



- 数字が大きくなるとレベルが上がリ、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

ご注意

- 本機は [マニュアル] に設定するとリミッター機能がありません。[OV]が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。[OV]が表示されないよう録音レベルを調整してください。

録音メニュー [録音設定]

録音モードを設定する [録音モード]

音質や録音時間を重視した録音ができます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

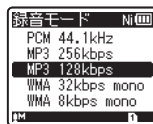
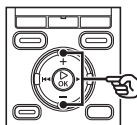
1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [録音モード] を選ぶ

6 + または - ボタンを押して録音モードを選ぶ



[PCM 44.1 kHz] *1
[MP3 256 kbps] *1
[MP3 192 kbps] *2
[MP3 128 kbps]
[WMA 32 kbps mono] *3
[WMA 8 kbps mono] *3

*1 V-823、V-822 のみ。

*2 V-821 のみ。

*3 モノラル録音になります。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

5

録音メニュー [録音設定]



5 ▶ **OK** ボタンを押す

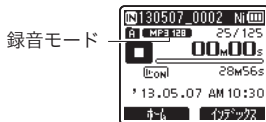
録音メニュー [録音設定]

録音モードを設定する [録音モード]

ヒント

- 録音レートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[録音モード]の設定を [MP3 128kbps] 以上にして録音することをおすすめします。

- ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



ご注意

- [録音モード] の設定をステレオ方式にしてモノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声録音されます。

マイクの指向性を選択する [ズームマイク]

広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つで切り替えが可能です。

! V-823のみ

- 1 停止中または録音中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ズームマイク] を選ぶ



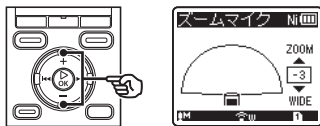
- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

5

録音メニュー [録音設定]

マイクの指向性を選択する [ズームマイク]

- 6 + または - ボタンを押して内蔵ステレオマイクの指向性を調整する



- + 側にすると指向性が高まります。
- - 側にすると広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 指向性を抑え、收音範囲を広げるとステレオ感のある録音ができます。
- [-3] ~ [+6] の範囲で調整できます。
- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

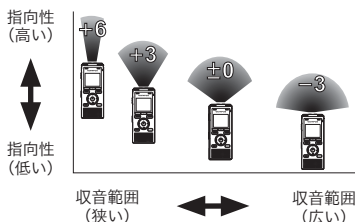
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ズームマイク



- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ズームマイク機能について



ご注意

- [ズームマイク] 機能は本機の内蔵ステレオマイクで性能が発揮できるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、コネクティングコードを利用して他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。
- [ズームマイク] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

録音メニュー [録音設定]

ノイズを軽減して録音する [ローカットフィルタ]

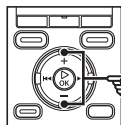
エアコンの空調音やプロジェクターなどの低周波音を軽減して録音できます。

- 1 停止中または録音中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ローカットフィルタ] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



- [ON] :
ローカットフィルタが機能します。
- [OFF] :
機能しません。
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ローカット
フィルタ



- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

録音メニュー [録音設定]

音声起動録音機能を使う [VCVA]

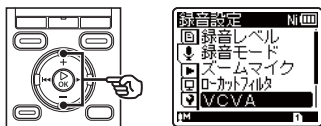
音声起動録音 (VCVA) とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を検知すると自動的に録音が始まり、音声小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

1 停止中または録音中に
メニュー / シーンボタンを
押す

2 +または-ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

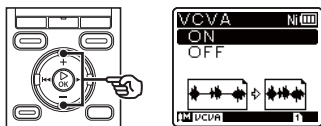
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[VCVA] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
[ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
VCVA が機能します。VCVA の
音声起動レベルは調整できます
(※ P.83)。

[OFF] :
機能しません。通常の録音に戻
ります。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャン
セルされ、[録音設定] 画面に戻
ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を
完了する

8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



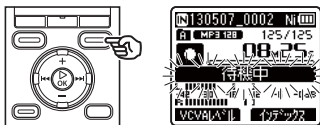
VCVA

• 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

音声起動録音機能を使う [VCVA]

音声起動レベルを調整して録音する

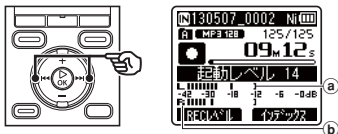
1 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- 設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。

このときディスプレイに [待機中] が点滅します。録音起動中はLED表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。

2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する



- a 音声起動レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)
 - b レベルメーター (録音音量に合わせて変化します)
- [01] ~ [23] の範囲で調整できます。

ヒント

- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が多いなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

V-823 のみ :

- VCVA 録音中に録音レベル (P.76) を [マニュアル] で変更する場合は、F1 ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わります。もう一度押すと音声起動レベルの調整モードに戻ります。

ご注意

- [VCVA] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - [音声同期録音] (P.84)

録音メニュー [録音設定]

音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

音声同期録音は、設定した音声同期録音レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。他の機器と接続して音楽をダビングするときは、曲間の無音部分を検出して1曲ごとにファイルとして保存されます。

1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [音声同期録音] を選ぶ



[1秒] [2秒] [3秒] [5秒] :
検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機は待機状態になります。

[OFF] : 通常の録音になります。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



5 ▶ OK ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して設定を変更する



音声同期録音

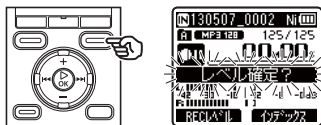
• 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

録音メニュー [録音設定]

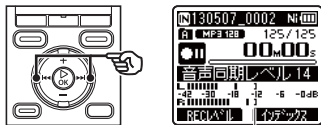
音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

音声同期レベルを調整して録音する

1 録音 (●) ボタンを押して録音の準備をする



2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声同期レベルを調整する



音声同期レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)

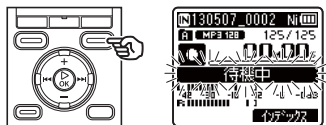
- 音声同期レベルは [01] ~ [23] まで調整できます。
- 数字が大きくなるほど起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。

ヒント

V-823 のみ:

- 音声同期レベル調整中に録音レベル (※ P.76) を [マニュアル] で変更する場合は、F1 ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わります。もう一度押すと音声同期レベルの調整モードに戻ります。

3 もう一度録音 (●) ボタンを押す



- ディスプレイに [待機中] が点滅し、LED 表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

ヒント

- 音声同期レベル以下の音が設定した検出時間以上続くと録音が自動的に終了し、録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、次に音声を感知したときは新しいファイルに録音されます。
- 音声同期録音を途中で止める場合、**停止 (■)** ボタンを押してください。

ご注意

- [音声同期録音] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - [VCVA] (※ P.82)

再生メニュー [再生設定]

非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]

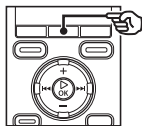
録音した音声ファイルの音声部分だけを再生できます。

! V-823、V-822のみ

ご確認

- あらかじめファイルの音声部分を抽出してください (※ P.65)。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す



- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ



- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



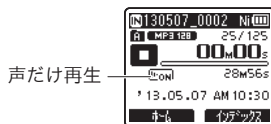
- [ON] :**
ファイルの非音声部分を自動的にスキップして音声部分だけを再生します。
- [OFF] :**
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

再生メニュー [再生設定]

非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]

- ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



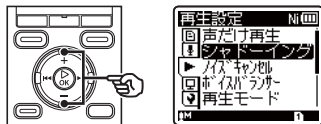
ご注意

- [声だけ再生] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。

音ありと音なしを交互に繰り返して再生する [シャドーイング]

本機のシャドーイング再生機能では、ABC リpeat再生 (※ P.36) の繰り返し区間を、1 回目は通常の音量 (ヒアリング練習) で再生し、2 回目は無音または小音量 (スピーキング練習) で再生します。この一連の動作を交互に繰り返します。語学学習にお役にください。

- 1 停止中にメニュー / シーン ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [シャドーイング] を選ぶ



5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー [再生設定]

音ありと音なしを交互に繰り返して再生する [シャドーイング]

- ▶OK ボタンを押す
- ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- +または-ボタンを押して [ON (無音)], [ON (小音量)] または [OFF] を選ぶ
- 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



シャドーイング

[ON (無音)] :

通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、無音で繰り返し区間を再生します。

[ON (小音量)] :

通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、小音量で繰り返し区間を再生します。

[OFF] :

シャドーイング再生機能は動きません。

- ▶◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

ご注意

- シャドーイング再生は ABC リピート再生 (P.36) でのみ機能します。

再生メニュー [再生設定]

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

録音した音声聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

- 1 停止中または再生中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

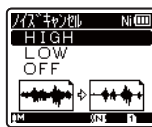
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [ノイズキャンセル] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して [HIGH]、[LOW] または [OFF] を選ぶ



[HIGH] [LOW] :
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー【再生設定】

ノイズを軽減して再生する 【ノイズキャンセル】

- 8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



ノイズ
キャンセル

- 停止中に**停止 (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [ノイズキャンセル] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ノイズキャンセル] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [ノイズキャンセル] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - 再生中における速度・音程*の変更 (P.35)
- * V-823、V-822 のみ。

小さい音を補正して再生する 【ボイスバランサー】

録音した音声ファイルの音量が小さい部分を大きくするように補正する機能です。会話などの小さい音を大きく明瞭にします。音声録音用フォルダ ([G]) ~ ([H]) に保存されているファイルで使用できます。

! V-823、V-822 のみ

- 1 停止中または再生中に
メニュー/シーンボタンを
押す
- 2 +または-ボタンを押して
【再生設定】 タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを
設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して
【ボイスバランサー】 を選ぶ

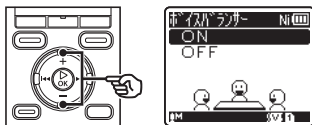


再生メニュー [再生設定]

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
[ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
音声ファイルの小さい部分を大きく
なるように補正して再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



ボイス
バランサー

- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [ボイスバランサー] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ボイスバランサー] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [ボイスバランサー]機能と[再生シーン] 機能を同時に使用する場合は、[再生シーン]の設定が優先されます。再生シーンの設定内容を変更することはできません (P.100)。

5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー [再生設定]

音声をクリアに強調する [音声フィルタ]

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

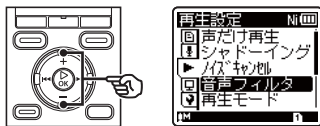
! V-821のみ

1 停止中または再生中に
メニュー/シーンボタンを
押す

2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

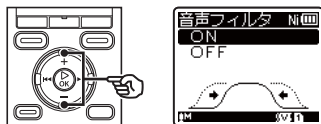
3 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[音声フィルタ] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
[ON] または [OFF] を選ぶ



[ON]:
音声フィルタが機能します。

[OFF]:
機能しません。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を
完了する

再生メニュー [再生設定]

音声をクリアに強調する [音声フィルタ]

- 8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



音声フィルタ

- 停止中に**停止 (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [音声フィルタ] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [音声フィルタ] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [音声フィルタ] 機能と [再生シーン] 機能を同時に使用する場合は、[再生シーン] の設定が優先されます。再生シーンの設定内容を変更することはできません (P.100)。

再生モードを選択する [再生モード]

お好みに合わせて再生モードをお選びください。

- 1 停止中または再生中に
メニュー / シーンボタンを
押す
- 2 + または - ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して
[再生モード] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

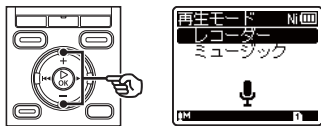
5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー [再生設定]

再生モードを選択する [再生モード]

- 6 +または-ボタンを押して
[レコーダー] または
[ミュージック] を選ぶ



[レコーダー] を選んだ場合：

- 8 +または-ボタンを押して
[ファイル] または [フォルダ]
を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す

[レコーダー] を選んだ場合：

☞ 手順 8 へ

[ミュージック] 以外を選んだ場合：

☞ 手順 10 へ

[ファイル]：

現在のファイルを再生後に停止します。

[フォルダ]：

現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 9 ▶OK ボタンを押して、手順
14 に進む

再生メニュー [再生設定]

再生モードを選択する [再生モード]

[ミュージック] を選んだ場合：

- 10** +または-ボタンを押して [再生範囲]、[リピート] または [ランダム] を選ぶ



[再生範囲]：
ファイル再生の範囲を指定します。

[リピート]：
設定された範囲を繰り返して再生します。

[ランダム]：
設定された範囲をランダムに再生します。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 11** ▶OK ボタンを押す

- 12** +または-ボタンを押して設定を選ぶ



[再生範囲] を選んだ場合：

[ファイル] [フォルダ] [全ファイル]：

ファイル再生の範囲を指定します。

[リピート] または [ランダム] を選んだ場合：

[ON]：

再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。

[OFF]：

リピート再生およびランダム再生を解除します。

- 13** ▶OK ボタンを押して、手順 **14** に進む

5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー [再生設定]

再生モードを選択する [再生モード]

14 停止 (■) ボタンを押して メニュー画面を終了する



再生モード

- ・停止中に**停止 (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

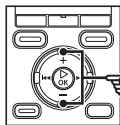
ご注意

- ・[再生範囲] を [ファイル] に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに [ファイルエンド] が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ・[再生範囲] を [フォルダ] に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ・[再生範囲] を [全ファイル] に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が 2 秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

音楽の音質を変える [イコライザー]

イコライザーの設定を変えると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

- 1 停止中または再生中に
メニュー / シーン ボタンを
押す
- 2 **+** または **-** ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ
- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する
- 4 **+** または **-** ボタンを押して
[イコライザー] を選ぶ

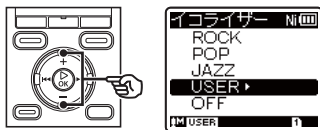


- 5 **▶OK** ボタンを押す

再生メニュー [再生設定]

音楽の音質を変える [イコライザー]

- 6 + または - ボタンを押してイコライザー特性を選ぶ



- [USER] を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。

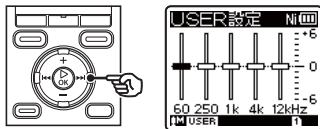
[USER] を選んだ場合：

☞ 手順 7 へ

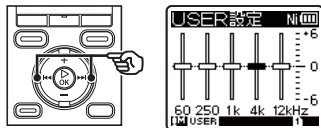
[USER] 以外を選んだ場合：

☞ 手順 10 へ

- 7 ▶▶ ボタンを押す

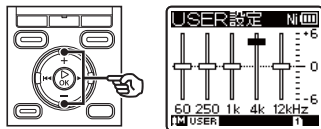


- 8 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ



- [60Hz] [250Hz] [1kHz] [4kHz] [12kHz] の各周波数帯域ごとにレベルを設定できます。

- 9 + または - ボタンを押してレベルを設定する



- [-6] から [+6] までを 1 dB 単位で設定できます。
- レベル数を大きくすると、その周波数帯域が強調されます。
- 他の周波数帯域を変更する場合、手順 8 と手順 9 を繰り返してください。

5

再生メニュー [再生設定]

再生メニュー [再生設定]

音楽の音質を変える [イコライザー]

- ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 停止** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



イコライザー

- 停止中に**停止** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [イコライザー] は [ミュージック] モードのときのみ機能します。

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ (送る) または逆スキップ (戻る) して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

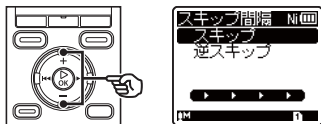
- 1 停止中または再生中に**メニュー / シーン** ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [スキップ間隔] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

- 6 +または-ボタンを押して
[スキップ] または
[逆スキップ] を選ぶ

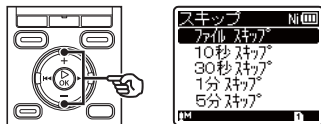


[スキップ] :
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

[逆スキップ] :
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

- 7 ▶OK ボタンを押す

- 8 +または-ボタンを押して
設定を選ぶ



[スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ] [10分 スキップ]

[逆スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ]
[1秒 スキップ] ~ [3秒 スキップ]
[5秒 スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ]

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[スキップ間隔] 画面に戻ります。

- 9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 10 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

再生メニュー [再生設定]

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプレマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

再生シーンを設定する [再生シーン]

本機には[文字起こし]および[語学学習]という再生するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ2種類登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

5

スキップ・逆スキップ再生のしかた

- ▶OK ボタンを押して再生を開始する



- 再生中に▶▶ または◀◀ ボタンを押す



- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

- 1 停止中にメニュー / シーン ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して [再生シーン] を選ぶ

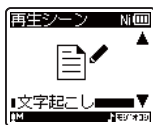
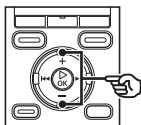


- 5 ▶OK ボタンを押す

再生メニュー [再生設定]

再生シーンを設定する [再生シーン]

- 6 + または - ボタンを押して
[文字起こし] または
[語学学習] を選ぶ



[文字起こし] :

会議やインタビューなどの音声ファイルの内容を文章化して議事録や書面に書き起こすときに便利です。ボタン類の動作が文字起こし用の設定に一括で切り替わります。

[■ (停止)]	[オートバック (3秒)]
[▶▶ (早送り)]	[3.5倍速再生] *1 [2.0倍速再生] *2
[◀◀ (早戻し)]	[早戻し]
[▶▶ (スキップ)]	[10秒スキップ]
[◀◀ (逆スキップ)]	[3秒スキップ]
[ボイスバランサー] *1 [音声フィルタ] *2	[ON]

[語学学習] :

ボタン類の動作が語学学習用の設定に一括で切り替わります。

[■ (停止)]	[停止]
[▶▶ (早送り)]	[2.5倍速再生] *1 [2.0倍速再生] *2
[◀◀ (早戻し)]	[早戻し]
[▶▶ (スキップ)]	[10秒スキップ]
[◀◀ (逆スキップ)]	[3秒スキップ]
[ボイスバランサー] *1 [音声フィルタ] *2	[OFF]

*1 V-823、V-822 のみ

*2 V-821 のみ

ヒント

- ▶▶ ボタンを押すと選択したテンプレートの設定を確認できません。◀◀ ボタンを押すと [再生シーン選択] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



再生シーン

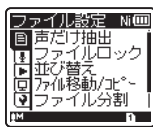
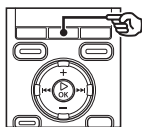
- 停止中に停止 (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

表示/音メニュー [表示/音設定]

バックライトを設定する [バックライト]

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

- 1** 録音中、再生中または停止中にメニュー/シーンボタンを押す



- 5** + または - ボタンを押して設定を選ぶ



- 2** + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ



[5秒] [10秒] [30秒] [1分] :
バックライトの点灯時間を設定します。

[OFF] :
バックライトは点灯しません。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示/音設定] 画面に戻ります。

- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 6** ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7** 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 4** ▶OK ボタンを押す

5

表示/音メニュー「表示/音設定」

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

コントラストを調整する [コントラスト]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

- 1** 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ

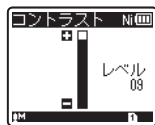
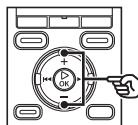
- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [コントラスト] を選ぶ



- 5** ▶OK ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押してレベルを調整する



- [01] から [12] の間で調整を行います。
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

- 7** ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8** 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

LED 表示ランプを設定する [LED]

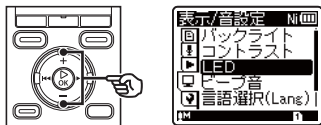
LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。

- 1** 録音中、再生中または停止中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ

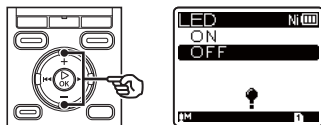
- 3** ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [LED] を選ぶ



- 5** ▶ OK ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
LED 表示ランプが点灯します。

[OFF] :
LED 表示ランプは点灯しません。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

- 7** ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

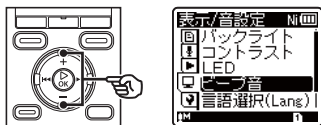
- 8** 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

ビープ音を設定する [ビープ音]

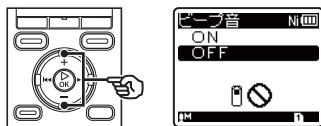
本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ビープ音] を選ぶ



- 5 ▶ OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
ビープ音が機能します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

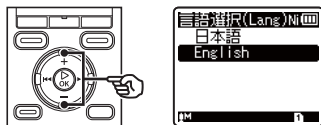
表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 6 + または - ボタンを押して設定を変更する

- 2 + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ

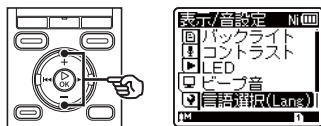


- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [言語選択 (Lang)] を選ぶ

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する



- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 5 ▶OK ボタンを押す

ヒント

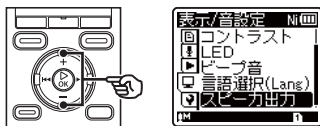
- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語は変わりません。

表示/音メニュー [表示/音設定]

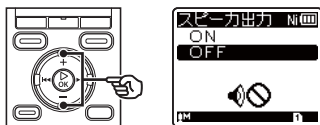
スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]

イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。
[OFF] に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ません。
バスや電車の中で安心です。

- 1 停止中にメニュー / シーン ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [スピーカ出力] を選ぶ



- 5 ▶ OK ボタンを押す
- 6 + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



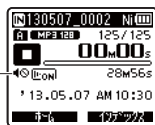
[ON] :

イヤホン接続中はイヤホンから音が出され、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音が出されます。

[OFF] :

イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音が出されません。

- 7 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



スピーカ出力停止表示
([スピーカ出力] を [OFF] に設定すると表示されます)。

ご注意

V-823、V-822 のみ :

- この機能はファイル再生時に機能します。FM ラジオ受信時のスピーカ出力については、[FM 設定] メニューの [出力設定] をご覧ください (P.122)。

5

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]

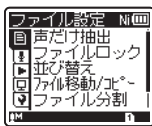
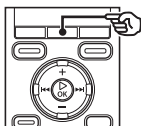
JP

本体メニュー [本体設定]

記録メディアを選択する [メモリ選択]

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます (P.15)。

- 1** 停止中にメニュー / シーンボタンを押す



- 5** + または - ボタンを押して記録メディアを選ぶ



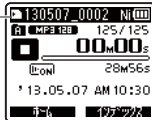
- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ



- 6** ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7** 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

記録メディア —



- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4** ▶OK ボタンを押す

5

本体メニュー [本体設定]

本体メニュー [本体設定]

省電力モードを設定する [スリープ]

電源を入れて停止状態のまま設定した時間を経過すると、自動的に電源が切れます。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [スリープ] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して時間を設定する



- [5分] [10分] [30分] [1時間] :
お好みの時間を設定してください。
[OFF] :

省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

本体メニュー [本体設定]

本体メニュー [本体設定]

使用する電池を設定する [電池設定]

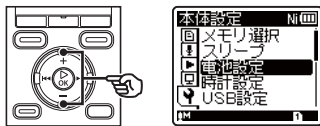
現在使用している電池に合わせて設定してください。

- 1** 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

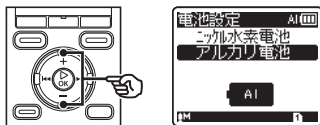
- 3** ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [電池設定] を選ぶ



- 5** ▶ OK ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押して設定する



[ニッケル水素電池] (NiMH) :
オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の場合にお選びください。

[アルカリ電池] (Alkaline) :
アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

- 7** ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

- 8** 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

使用中の電池の種類



5

本体メニュー [本体設定]

本体メニュー [本体設定]

日付・時刻を合わせる [時計設定]

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻を合わせてください。

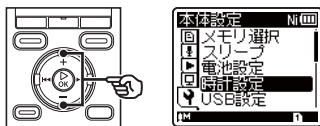
現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。

- 1** 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

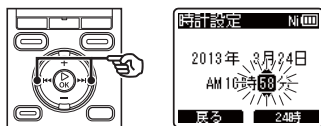
- 3** ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [時計設定] を選ぶ

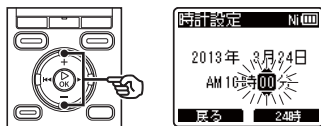


- 5** ►OK ボタンを押す

- 6** ►► または ◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



- 7** + または - ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、►► または ◀◀ ボタンで点滅を移動し、+ または - ボタンで数字を変更します。

本体メニュー [本体設定]

日付・時刻を合わせる [時計設定]

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

9 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

ヒント

- 時、分の設定中、**F2** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 38 分の場合

PM 10 時 38 分
(初期値) ←————→ 22 時 38 分

- 年、月、日の設定中、**F2** ボタンを押すたびに表示の順序が切り替わります。

例：2013 年 3 月 24 日の場合

2013 年 3 月 24 日
(初期値)

↓

3 月 24 日 2013 年

↓

24 日 3 月 2013 年

5

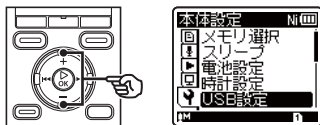
本体メニュー [本体設定]

本体メニュー [本体設定]

USB 接続を設定する [USB 設定]

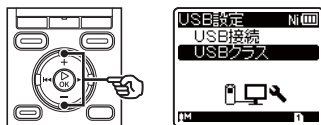
パソコンと接続してファイルの送受信などを行う **[PC 接続]** や USB 接続 AC アダプタ (A514) (別売) を接続して充電を行う **[AC アダプタ接続]** の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して **[本体設定]** タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して **[USB 設定]** を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して **[USB 接続]** または **[USB クラス]** を選ぶ



[USB 接続] :
パソコンと接続したときの設定をします。

[USB クラス] :
USB クラスの設定をします。

- 7 ▶ **OK** ボタンを押す

[USB 接続] を選んだ場合 :

☞ 手順 9 へ

[USB クラス] を選んだ場合 :

☞ 手順 10 へ

ヒント

- パソコン側から本機が外部記憶装置として認識されない場合、**[USB クラス]** の設定を **[ストレージ]** に切り替えてください。
- **[USB 接続]** の設定が **[AC アダプタ接続]** の場合、パソコンに接続しても認識されません。

本体メニュー [本体設定]

USB 接続を設定する [USB 設定]

[USB 接続] を選んだ場合：

- 8 **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



[PC 接続]：
パソコンに接続するときの設定です。ストレージまたはコンボジットとして接続されます。

[AC アダプタ接続]：
パソコンから充電をしたり、AC アダプタ (A514) (別売) に接続するときの設定です。

[毎回確認]：
USB 接続をするたびに接続方法を確認します。

- 9 **▶OK** ボタンを押して、手順 12 に進む

[USB クラス] を選んだ場合：

- 10 **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



[ストレージ]：
パソコン側から外部記憶装置として認識されます。

[コンボジット]：
パソコンと接続したときに本機を、外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときに選びます。

- 11 **▶OK** ボタンを押して、手順 12 に進む

- 12 **停止 (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体メニュー [本体設定]

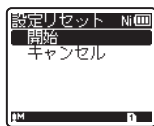
設定をリセットする [設定リセット]

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [設定リセット] を選ぶ
- 6 + ボタンを押して [開始] を選ぶ
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 5 ▶OK ボタンを押す



ヒント

- 設定リセット後の初期値は、**[メニューの一覧]** をご覧ください (※ P.59 ~ P.63)。

5

本体メニュー [本体設定]

本体メニュー [本体設定]

記録メディアを初期化する [初期化]

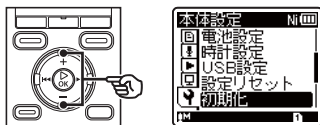
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

- 1** 停止中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

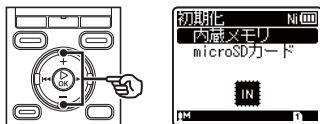
- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [初期化] を選ぶ



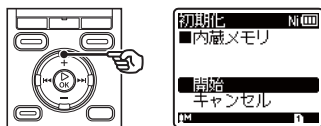
- 5** ▶OK ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ

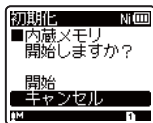


- 7** ▶OK ボタンを押す

- 8** + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 9** ▶OK ボタンを押す



5

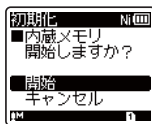
本体メニュー
[本体設定]

JP

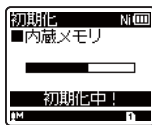
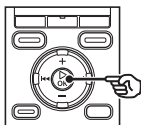
本体メニュー [本体設定]

記録メディアを初期化する [初期化]

10 + ボタンを押してもう一度 [開始] を選ぶ



11 ▶ OK ボタンを押す



- [初期化中] が表示され、初期化が開始されます。
- [初期化完了] が表示されたら初期化終了です。

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、[設定リセット] を行ってください (P.115)。

ご注意

- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本機に microSD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのかを間違えないよう、必ず確認してください (P.108)。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - ① 初期化中に USB 接続 AC アダプタを取り外す。
 - ② 初期化中に電池を取り外す。
 - ③ 記録メディアが [microSD カード] の場合、初期化中に microSD カードを取り外す。
- 初期化や消去 (P.42) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

本体メニュー [本体設定]

記録メディアの情報を確認する [メモリ情報]

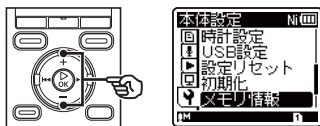
メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

5

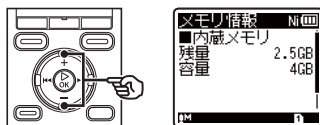
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [メモリ情報] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して画面を切り替える



- 7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [メモリ情報] 画面から出る

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

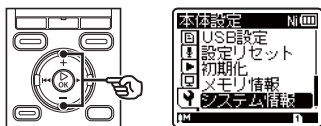
- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本体メニュー [本体設定]

本機の情報を確認する [システム情報]

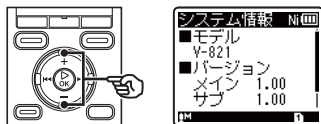
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

- 1 停止中にメニュー / シーンボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [システム情報] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して画面を切り替える



- 7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [システム情報] 画面から出る
- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

本体メニュー [本体設定]

FM メニュー [FM 設定]

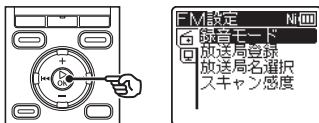
録音時の音質を選択する [録音モード]

FM ラジオ録音中は切り替えできません。録音する前にあらかじめ録音モードをお選びください。

! V-823、V-822 のみ

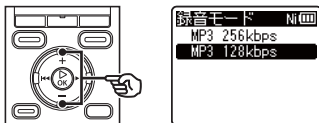
- 1 [FM ラジオ] モード中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 3 ▶OK ボタンを押す

- 4 +または-ボタンを押して録音形式を選ぶ



[MP3 256 kbps]

[MP3 128 kbps]

- 5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 6 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

放送局を登録する [放送局登録]

! V-823、V-822 のみ

あらかじめ放送局を登録しておくと放送局の呼び出しに便利です (※ P.45、P.47、P.51)。

放送局の登録名称を変更する [放送局名選択]

! V-823、V-822 のみ

登録した周波数から候補となる放送局名を表示します。選択した放送局名に変更して登録できます (※ P.53)。

FM メニュー [FM 設定]

スキャン感度を設定する [スキャン感度]

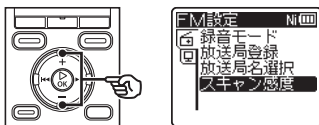
オート受信時のスキャン感度の切り替えができます。受信状況に合わせてお選びください。ラジオ録音中は切り替えできません。

❗ V-823、V-822 のみ

1 [FM ラジオ] モード中にメニュー / シーンボタンを押す

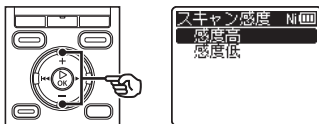
2 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

3 +または-ボタンを押して [スキャン感度] を選ぶ



4 ▶OK ボタンを押す

5 +または-ボタンを押して [感度高] または [感度低] を選ぶ



[感度高] :

高感度で放送局をスキャンします。通常はこの設定をお選びください。

[感度低] :

感度を抑えて放送局をスキャンします。放送局の混信などがある場合、この設定をお試しください。

6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

F M
メ
ニ
ー
「
F
M
設
定
」

FM メニュー [FM 設定]

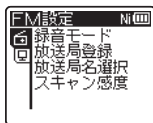
音声出力を切り替える [出力設定]

FM ラジオの音声出力をイヤホンで聞かまたは内蔵スピーカで聞かを切り替えます。ラジオ録音中は切り替えられません。

！ V-823、V-822 のみ

- 1 [FM ラジオ] モード中にメニュー / シーンボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ



- 3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [出力設定] を選ぶ



- 5 ▶ OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して [イヤホン] または [スピーカ] を選ぶ



[イヤホン]：常にイヤホンからラジオ音声を出します。イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからはラジオ音声は出力されません。

[スピーカ]：常に内蔵スピーカからラジオ音声を出します。イヤホンを接続してもイヤホンからラジオ音声は出力されません。

- 7 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

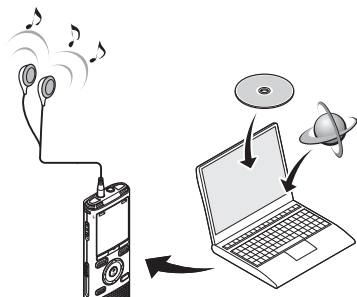
ご注意

- この機能はラジオ受信時に機能します。ファイル再生時のスピーカ出力については、[表示 / 音設定] メニューの [スピーカ出力] をご覧ください (P.107)。

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- Windows Media Player または iTunes を使ってパソコンに取り込んだ WMA・MP3・WAV* 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます。
* V-823、V-822 のみ。
- 本機は IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほか、パソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご利用いただけます (P.128)。



パソコンの動作環境

Windows

OS (オペレーティングシステム) :

Microsoft Windows XP/Vista/7/8
標準インストール (日本語版)

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS (オペレーティングシステム) :

Mac OS X 10.5 ~ 10.8
標準インストール (日本語版)

対応パソコン:



1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

ご注意

- 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
- 動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

パソコンの動作環境

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

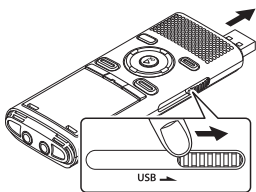
- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機のLED表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決してUSB接続を外さないでください。また、USB接続を外す場合、必ず  P.126 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外しないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の【初期化】メニューから行ってください（ P.116）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを取り外してください。

6

パソコンに接続する／取り外す

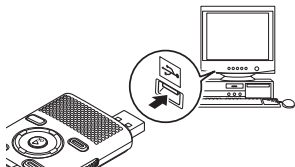
パソコンに接続する

- 1 パソコンを起動する
- 2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせる



- USB 端子を引き出します。USB 端子カバーは本機内に格納されます。

- 3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



- USB 接続中は、本機のディスプレイに **【PC と接続中です】** と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、**【AC アダプタ接続】** を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を **【PC 接続】** にしてください (P.113)。

ヒント

- Windows の場合、**【マイコンピュータ】** を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、**【リムーバブルディスク】** として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されません。microSD カードが入っている場合は **【Untitled】** と表示されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください (V-823 のみ)。


ご注意

- 本機のホールドは解除してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンに接続する／取り外す

パソコンから取り外す

Windows

- 1 画面右下のタスクバーの [] をクリックして、**[USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します]** をクリックする



- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

- 2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

- 1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する



- 2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

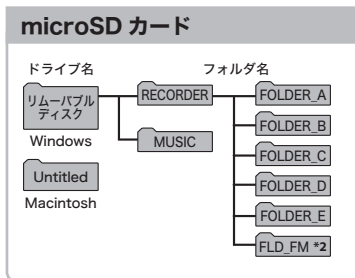
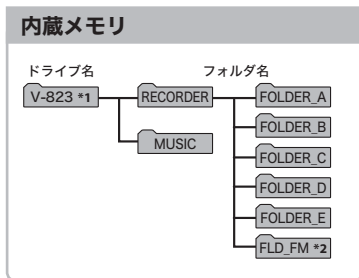
ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

音声録音用の 5 つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ [FOLDER_A]、[FOLDER_B]、[FOLDER_C]、[FOLDER_D]、[FOLDER_E] という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルが保存されています (V-823、V-822 のみ、FM ラジオの録音は [FLD_FM] に保存されます)。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名



*1 製品名のドライブ名で認識されます。

*2 V-823、V-822 のみ。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

- 1 本機をパソコンに接続する
(P.125)
- 2 エクスプローラを起動する
・ [マイコンピュータ] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- 3 製品名のフォルダをクリックする
- 4 データをコピーする
- 5 本機をパソコンから取り外す
(P.126)

Macintosh

- 1 本機をパソコンに接続する
(P.125)
 - ・ Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
- 3 データをコピーする
- 4 本機をパソコンから取り外す
(P.126)

ご注意

- ・ データ通信中は [データ送信中] または [データ受信] と表示され、LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.9、P.11)。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっている ファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (☞ P.67)。
A ~ E フォルダで 録音してください (Cannot record in this folder)	[レコーダー] モード以外で録音しようとしている。	[レコーダー] モードに切り替え、 [フォルダ A] ~ [フォルダ E] を選び直して録音してください (☞ P.19、P.22)。
	V-823、V-822 のみ	
これ以上記録できません (No more can be set)	[FM ラジオ] フォルダで録音しようとしている。	[フォルダ A] ~ [フォルダ E] を選び直して録音してください (☞ P.21、P.22)。
	ファイル内でインデックスマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないインデックスマークを 消去してください (☞ P.39)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	ファイル内でテンプマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください (☞ P.39)。
	フォルダ内のファイル件数が最大数 (200) になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.42)。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンター にご連絡ください (☞ 裏表紙)。
microSD カードに 異常があります (Card error)	microSD カードが正しく認識 されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.15、P.16)。
不正コピーされたファイルです (Illegally copied file)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください (☞ P.42)。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.42)。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.21、P.22)。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.116)。
管理ファイルが作成できません PCに接続して不要なファイルを 消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and erase unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用の ファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイ ルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び 直してください (☞ P.34)。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してく ださい (☞ P.21、P.22)。
同一フォルダには 移動(コピー)できません (Same folder can't be moved (copied))	同じフォルダに移動(コピー) しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動(コピー)できない ファイルがあります (Some files can't be moved (copied))	移動(コピー)先に同一ファイ ル名があった。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音したMP3形式、 WAV形式以外のファイルを分 割しようとしている。	ファイルを選び直してください。
イヤホン挿入してください (Insert earphone)	V-823、V-822のみ	
	FMラジオを受信するためのアン テナとなるイヤホンが挿入さ れていない。	イヤホン挿入してから、FMラ ジオモードを選択してください。
放送局名がありません (No station name found)	V-823、V-822のみ	
	受信中の周波数では変更できる 放送局名がない。	受信中の周波数では該当する放送 局が無いため、放送局名の選択が できません。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の⊕と⊖を確かめてください (P.9)。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (P.9、P.11)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (P.9)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (P.9、P.11)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (P.9)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (P.17)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (P.42)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください (P.21、P.22)。
	V-823、V-822のみ	
	[FM 設定] の [出力設定] の設定が [スピーカ] になっている。	[出力設定] の設定を [イヤホン] にしてください (P.122)。
再生音が聞こえない	イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	[スピーカ出力] の設定が [OFF] になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、[スピーカ出力] の設定を [ON] にしてください (P.107)。
	音量が [00] になっている。	ボリュームを調節してください (P.31)。
録音のレベルが小さい	録音レベルが低い。	録音レベルの設定を [高 (講義)] または [中 (会議)] にしてもう一度録音してください (P.76)。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
	V-823のみ	
	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (P.76)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルの音が歪む	V-823 のみ	
	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (※ P.76)。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整 (※ P.76) をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されていない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、Lチャンネルのみに音声録音されます。
	【録音モード】の設定がモノラル録音形式である。	【録音モード】の設定をステレオ形式から選んでください (※ P.78)。
	V-823 のみ	
	【ズームマイク】の設定が+側になっている。	【ズームマイク】の設定を【OFF】にしてください (※ P.79)。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください (※ P.21、P.22)。
再生時に雑音が入る	録音時に本機をこすったりした。	_____
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
再生時、非音声部分がスキップされない	V-823、V-822 のみ	
	【声だけ抽出】の処理をしていない。	【声だけ抽出】を使って音声を抽出してください (※ P.65)。
	【声だけ再生】の設定が【OFF】になっている。	【声だけ再生】の設定を【ON】にしてください (※ P.86)。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (※ P.67)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください (※ P.125)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けられないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプマークが付けられない	マーク件数が最大（99件）になっている。	必要のないマークは消去してください（※ P.39）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（※ P.67）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
FM ラジオが受信できない	V-823、V-822のみ	
	イヤホンジャックにイヤホンを接続していない。	付属のイヤホンはアンテナの役割もしております。ご使用の際はイヤホンを接続してください。
	【出力設定】の設定が【イヤホン】になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、【出力設定】の設定を【スピーカ】にしてください（※ P.122）。
充電ができない	V-823、V-822のみ	
	【電池設定】の設定が【アルカリ電池】になっている。	付属の充電電池をご使用の上、電池設定を【ニッケル水素電池】にしてください。また、充電電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください（※ P.10、P.13、P.110）。
	▶OK ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、▶OK ボタンを押してください。
	【USB クラス】の設定が【コンボジット】になっている。	【USB クラス】の設定を【ストレージ】にしてください（※ P.113）。
パソコン側から本機を認識できない	【USB 接続】の設定が【ACアダプタ接続】になっている。	【USB 接続】の設定を【PC 接続】にしてください（※ P.113）。
ボタン動作がおかしい	【再生シーン】の設定が【文字起こし】または【語学学習】になっている。	再生シーンの設定を【OFF】にしてください（※ P.41、P.100）。

お手入れ

- **本機のお手入れ**

柔らかい布でやさしく拭いてください。
汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。

- **液晶モニタ**

柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

アクセサリ（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2チャンネルマイクロホン

（全指向性）：ME30W

広い会議室などの録音に適したローノイズ設計の全指向性マイクで、左右それぞれのマイクを最大約 5m 離して録音できます。

コンパクトガンマイクロホン

（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

コンパクトズームマイクロホン

（単一指向性）：ME32

三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

バウンダリーマイクロホン：

ME33

左右それぞれに最大 3 台ずつ接続可能な会議録音用マイクです。カスケード接続すれば左右合わせて最大約 12m まで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。

モノラルマイクロホン

（単一指向性）：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減し、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイプピンマイク

（全指向性）：ME15

タイプピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップマイクロホン：

TP8

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単 4 形ニッケル水素充電電池：

BR404

持続性に優れた高性能充電電池です。

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。(AC100-240V 50/60Hz)

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ(φ 3.5)の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ(φ 3.5)、またはモノラルミニミニプラグ(φ 2.5)への変換プラグアダプタ(PA331/PA231)も同梱しています。

USB 接続ケーブル：KP19

ユーティリティソフト：

Olympus Sonority Plus

Voice-Trek で録音した音声をパソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャストリングにも対応しています。

シリコンケース：CS145

7

アクセサリ（別売）

JP

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

7

商標および登録商標について

商標について

- ボイストレック (Voice-Trek) はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。
- NTT エレクトロニクス株式会社からのライセンスに基づく音声区間検出技術を利用して製品化されています。
- 共栄エンジニアリング株式会社からのライセンスに基づく指向性制御技術を利用して製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。



安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が死亡または重傷を負う差し
迫った危険の発生が想定される」内容
を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が死亡または重傷を負う可能性
が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が傷害を負う可能性が想定され
る内容および物的損害のみの発生が想
定される」内容を示します。

本機について

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。
引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。
感電、けがををするおそれがあります。
- 車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
 - － 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
 - － 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- microSD / microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

安全に正しくお使いいただくために

7

安全に正しくお使いいただくために

- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

- ① 速やかに電池を抜いてください。
- ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

- 航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

- 異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

- 本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。

注意

- 操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

危険

- 火気のある場所に電池を置かないでください。

- 火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。

火災、破裂、発火、発熱の原因となります。

- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

- ⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

警告

- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。

感電や故障の原因となります。

- 外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。

破裂や発熱の原因となります。

- 電池の極性(⊕と⊖)を逆に入れてください。

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール(絶縁被覆)の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

- 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

- 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

- 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- 万一、使用中に異常な音をする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

- ① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
- ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

注意

- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

- 充電電池をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

- 充電電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電電池と取り替えてください。

安全に正しくお使いいただくために

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。



使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカーやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

＜受信に関する注意事項＞

- ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、窓際に移動したり携帯電話、テレビや蛍光灯などの電化製品から離れて使用してください。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリや microSD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- また、内蔵メモリや microSD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機や microSD カードの廃棄に関する注意事項＞

- 初期化 (P.116) や消去 (P.42) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報流出を防いでください。

主な仕様

一般事項

■ 記録形式：

リニア PCM (Pulse Code Modulation) 形式 (V-823、V-822 のみ)

MP3 (MPEG-1 Audio Layer3) 形式

WMA (Windows Media Audio) 形式

■ サンプル周波数：

リニア PCM 形式

44.1 kHz/16 bit *1	44.1 kHz
--------------------	----------

MP3 形式

256 kbps *1	44.1 kHz
192 kbps *2	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz

WMA 形式

32 kbps	44.1 kHz
8 kbps	8 kHz

*1 V-823、V-822 のみ。

*2 V-821 のみ。

■ ヘッドホン最大出力：

3 mW + 3 mW (16 Ω 負荷時)

■ 記録媒体*：

内蔵型 NAND FLASH メモリ

V-823：8 GB / V-822：4 GB /

V-821：2 GB

microSD カード

(2 GB ~ 32 GB に対応)

* メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ スピーカ：

φ 18 mm 丸型ダイナミックスピーカ
内蔵

■ マイクジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 2 k Ω

■ イヤホンジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω 以上

■ スピーカ実用最大出力：

150 mW (スピーカ 8 Ω)

■ 電源：

規定電圧：1.5 V

電池：単 4 形乾電池 1 本 (LR03)
またはオリンパス製ニッケル水素充電電池 1 本

外部電源：USB 接続 AC アダプタ (A514) (DC5V)

■ 外形寸法：

101 mm × 40.6 mm × 15.1 mm
(最大突起部含まず)

■ 質量：

54 g (電池含む)

■ 使用温度：

0 ~ 42°C

■ 受信周波数：

FM ラジオ：76.0 MHz ~ 90.0 MHz

■ 同梱品：

V-823、V-822 のみ：

本体 / USB 接続ケーブル* / キャ

リングケース / イヤホン /

単 4 形ニッケル水素充電電池 × 1 /

取扱説明書 (保証書付)

* V-823 のみ。

V-821 のみ：

本体 / イヤホン / 単 4 形乾電池 × 1

／取扱説明書 (保証書付)

主な仕様

周波数特性

■ マイクジャック録音時：

リニア PCM 形式

44.1 kHz/16 bit *1	40 Hz ~ 21 kHz
--------------------	----------------

MP3 形式

256 kbps *1	40 Hz ~ 20 kHz
192 kbps *2	40 Hz ~ 19 kHz
128 kbps	40 Hz ~ 17 kHz

WMA 形式

32 kbps	40 Hz ~ 13 kHz
8 kbps	40 Hz ~ 3 kHz

*1 V-823、V-822 のみ。

*2 V-821 のみ。

■ 内蔵ステレオマイク録音時：

70 Hz ~ 20 kHz (但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる)

■ 再生時：

20 Hz ~ 20 kHz

主な仕様

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit *	約 20 時間	約 15 時間
MP3 形式	128 kbps	約 27 時間	約 21 時間
WMA 形式	32 kbps	約 32 時間	約 24 時間
	8 kbps	約 37 時間	約 28 時間

■ 音声ファイル再生時（全再生モード）：

スピーカ再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit *	約 19 時間	約 15 時間
MP3 形式	128 kbps	約 21 時間	約 17 時間
WMA 形式	32 kbps	約 21 時間	約 17 時間
	8 kbps	約 24 時間	約 20 時間

イヤホン再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit *	約 22 時間	約 17 時間
MP3 形式	128 kbps	約 29 時間	約 21 時間
WMA 形式	32 kbps	約 30 時間	約 22 時間
	8 kbps	約 30 時間	約 22 時間

* V-823、V-822 のみ

■ FM ラジオモード時（内蔵メモリ使用時）（V-823、V-822 のみ）：

イヤホン再生時

本機の状態	アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
FM ラジオ受信時	約 12 時間	約 11 時間
FM ラジオ録音時（MP3 形式 128 kbps）	約 8 時間	約 8 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変わります（特にズームマイク、ノイズキャンセル、ボイスバランサー、音声フィルタ、速度・音程変更等の機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池では電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。

主な仕様

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

記録メディア		録音モード	
		44.1 kHz/16 bit	
内蔵メモリ	V-823 (8 GB)	約 11 時間 30 分	
	V-822 (4 GB)	約 5 時間 45 分	
microSD カード	32 GB	約 48 時間	
	16 GB	約 23 時間 30 分	
	8 GB	約 11 時間 30 分	

■ MP3 形式：

記録メディア		録音モード		
		256 kbps	192 kbps	128 kbps
内蔵メモリ	V-823 (8 GB)	約 65 時間	——	約 130 時間
	V-822 (4 GB)	約 32 時間 30 分	——	約 65 時間
	V-821 (2 GB)	——	約 21 時間 30 分	約 32 時間
microSD カード	32 GB	約 265 時間	約 353 時間	約 530 時間
	16 GB	約 132 時間	約 176 時間	約 264 時間
	8 GB	約 66 時間	約 88 時間	約 132 時間

■ WMA 形式：

記録メディア		録音モード	
		32 kbps	8 kbps
内蔵メモリ	V-823 (8 GB)	約 505 時間	約 1980 時間
	V-822 (4 GB)	約 257 時間	約 1000 時間
	V-821 (2 GB)	約 126 時間	約 493 時間
microSD カード	32 GB	約 2070 時間	約 8100 時間
	16 GB	約 1030 時間	約 4030 時間
	8 GB	約 515 時間	約 2010 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることもあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB、リニア PCM 形式 (WAV) は約 2GB に制限されています。
 - メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。
- リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
44.1 kHz/16 bit *1	約 3 時間 20 分

- MP3 形式：

録音モード	録音時間
256 kbps *1	約 37 時間 10 分
192 kbps *2	約 49 時間 30 分
128 kbps	約 74 時間 30 分

- WMA 形式：

録音モード	録音時間
32 kbps	約 26 時間 40 分
8 kbps	約 148 時間 40 分

*1 V-823、V-822 のみ。

*2 V-821 のみ。

記録可能な曲数

以下の値はあくまでめやすです。

V-823 (8GB)	約 1,950 曲
V-822 (4GB)	約 950 曲
V-821 (2GB)	約 450 曲

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

地域リスト

地域リスト

地方	都道府県・地域
北海道	札幌
	函館
	旭川
	帯広
	釧路
	北見
	室蘭
東北	青森
	岩手
	宮城
	秋田
	山形
	福島
関東	茨城
	栃木
	群馬
	埼玉
	千葉
	東京
	神奈川
北陸・甲信越	新潟
	富山
	石川
	福井
	山梨
	長野

地方	都道府県・地域
東海	岐阜
	静岡
	愛知
	三重
近畿	滋賀
	京都
	大阪
	兵庫
	奈良
	和歌山
中国	鳥取
	島根
	岡山
	広島
四国	山口
	徳島
	香川
	愛媛
	高知
九州・沖縄	福岡
	佐賀
	長崎
	熊本
	大分
	宮崎
	鹿児島
	沖縄

索引

記号

＋ボタン	4, 10, 22, 31, 57
▶▶ ◀◀ ボタン	4, 10, 22, 33
▶OK ボタン	4, 11, 31, 35

アルファベット

A

ABC リピート	36
----------	----

F

F1 ボタン	4, 19, 36
F2 ボタン	4, 22, 38, 71, 112
FM 設定	120
FM ラジオ	49
FM ラジオの録音モード	120
[FM ラジオ] モード	20, 49

L

LED [LED]	104
LED 表示ランプ	4, 23, 104, 126

M

microSD カード	15
MP3	34, 78

U

USB 接続 AC アダプタ (別売)	12
USB 設定	113
USB 端子	4, 12
USB 端子カバー	4
USB 端子スライドレバー	4, 11, 125

W

WAV	34, 78
WMA	34, 78

かな

い

イコライザ	96
イヤホンジャック	28, 32, 44
インデックスマーク	39

お

音楽再生用フォルダ	21
音楽ファイル	34
音声起動レベル	83
音声起動録音	82
音声同期レベル	85
音声同期録音	84
音声フィルタ	92
音声録音用フォルダ	21

か

外部マイク	27
外部メモリ	128
カレンダー検索	20, 40

け

言語選択	106
現在の局を登録	51

こ

声だけ再生	86
声だけ抽出	65
コネクティングコード	28
コントラスト	103

さ

再生シーン	41, 100
再生スピード	35
再生設定	86
再生モード	93

し

システム情報	119
充電	11, 12, 13
周波数モード	50
出力設定	122
受信周波数	50
受信モード	50
消去ボタン	4, 42, 43, 54
初期化	116

す

ズームマイク	79
スキップ間隔	98
スキャン感度	121
スキャン登録	47
ストラップ取り付け部	4
スピーカ出力	107
スリーブ	109

せ

設定リセット	115
--------	-----

て

停止 (■) ボタン	4, 23, 31, 55, 58
ディスプレイ	4, 5
電源 / ホールドスイッチ	4, 17, 18
電池 / カードカバー	4, 9, 15
電池設定	10, 110
電池表示	5, 14
テンプマーク	39

と

動作環境	123
時計設定	111

な

内蔵ステレオマイク	4, 23
内蔵スピーカ	4, 107, 122
並び替え	68

の

ノイズキャンセル	89
----------	----

は

バックライト	102
--------	-----

ひ

ビープ音	105
表示 / 音設定	102

ふ

ファイル	22
ファイルの移動 / コピー	69
ファイル設定	65
ファイル表示	5, 6
ファイル分割	72
ファイルリスト表示	5
ファイルロック	67
フォルダ	22
フォルダリスト表示	5
プリセット番号	50
プリセットモード	50
プロパティ	74

ほ

[ホーム] 画面	19
ボイスチェンジャー	35
ボイスバランサー	90
放送局登録	45, 47, 51
放送エリア	44
本体設定	108

ま

マイクジャック	4, 27
---------	-------

み

[ミュージック] モード	6, 20
--------------	-------

め

メニュー / シーンボタン	4, 29, 39, 41, 51
メニュー設定	57
メモリ情報	118
メモリ選択	108

ら

ラジオ受信表示	7
ラジオ録音中表示	7

り

リスト表示	6
リストボタン	4, 22

れ

[レコーダー] モード	5, 20
-------------------	-------

ろ

ローカットフィルタ	81
録音シーン	41
録音設定	76
録音 (●) ボタン	4, 23, 55
録音モード	78, 120
録音レベル	76

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取り扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をゆめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後も修理可能な場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
 - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
 - ニ. 本書のご提示がない場合。
 - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年		無 料
品 名	ボイストレック	型 名	V-823/V-822/V-821
シリアル No.		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名			



オリンパス イメージング株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましては当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00～20：00

土・日・祭日 9：00～18：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。